

交通Bulletin

2002年 春季号

発行：日本大学理工学部社会交通工学科教室
☎ 047-469-5239（教室事務）
発行責任者：巻内勝彦（教室主任）
編集担当：福田 敦・藤井敬宏
制作：株式会社 テイクアイ

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

■ CONTENTS ■

平成 14 年度 研究室紹介	2	学外学術活動	20
平成 13 年度 博士論文	9	海外出張	22
平成 13 年度 修士論文	9	助成研究・委託研究	22
平成 13 年度 卒業研究	9	平成 13 年度 各賞受賞者	23
平成 13 年度 教員の研究・活動		平成 13 年度 学生の活動	23
研究業績	12	平成 13 年度 就職状況	23
社会的活動	18		

社会交通工学科「交通Bulletin」の再刊に際して

教室主任 巻内勝彦

『交通 Bulletin』は、諸般の事情で久しく休刊状態にありましたが、本年から再び定期的に刊行することにした（春季・秋季の年2回を予定しています）。学科の教員と学生の教育・研究の最新動向や学内の諸々の動きを、在校生、卒業生、学外の方々にも広く知っていただき、ご支援やご提言などを頂戴することが、これからの躍動的な時代において当学科が社会の要請に真に応えるために大切と思うからです。そのためには、いまやインターネット普及の時代とはいえ、印刷物をはじめとして各種メディアをできるだけ活用してタイミングを逃さず適切に情報発信することが重要となりましょう。

昨年、当学科は創立40周年を迎えて盛大に記念行事を催しましたが、その40年という歳月を振り返ってみまして、学科だけでなく卒業生達の活躍してきた実業界においても様々な状況変化があり、学科を営々と築き発展させてきた恩師の方々をはじめ関係者の並々ならぬ熱意がひしひしと感じられ感慨深いものがありました。卒業生も5,000名を超える大所帯に成長し充実してきました。学科の歴史と変容の姿は、節目の年ごとに催された記念誌などにも詳しくまとめられていますのでご参照いただくと、今まで培ってきた学科の実績と伝統を踏まえながら、将来に向けてさらなる飛躍をするためには、私学としての日大理工学部の当学科の位置づけと教育・研究のあり方はどうあるべきかを自問自答し、また第三者からの批判や評価を拝聴しながら、日頃の検討を重ねることが重要と考えています。昨年

はとりわけ、大学を取り巻く情勢には尋常ならざるものがあり、改めてこの厳しい折柄に際して、真摯に前向きに取り組むことが必要です。

そもそも大学には、教育・研究内容を恒常的に見直しつつ新陳代謝を図り社会に貢献する責務があります。そこで、当学科も数回にわたってカリキュラムの大幅な改定を行うとともに、科名も創立当初の「交通工学科」から「交通土木工学科」、「社会交通工学科」へと『交通』をキーワードに据えて、時代の要請への適応をして来たのはご存知の通りです。しかし、最近では社会の変容の加速度はいっそう大きくなり、少子化・理工系離れ・高齢化の中で社会的ニーズはますます高度化・多様化が進んでいます。国公立大学も民営化に向けての道を歩もうとしている中、いずれの大学も激化が予測される自由競争に備えて、それぞれ特徴を持ち、良好な教育環境を提供する努力を進めています。

幸い、社会交通工学科は、2002年度の理工系『大学ランキングTOP 30』（民間調査）において上位ランクに評価されました（私立大学の土木系学科の中で1位）。今後も引き続き学科の改善努力を進める意欲が、教員一同に沸々とわいてきているところです。

これからの大学は、自らの学科活性化を有効に推進するためにも、実社会で経験豊かな学外有識者の知恵と活力を反映させてゆくことが欠かせないと思っています。この『交通 Bulletin』が、学内外とのそうした協力関係を築く媒体になればと念じている次第です。

交通景観 研究室

天野光一 教授

畠田真一 副手



●研究室の目標

究極の目標

・「美しい国土、住みやすい地域、都市をつくる」

研究室の活動

・基礎的能力の育成、資料の収集、現地の見学

・究極の目標にかかわる研究の実施

研究分野：景観、観光、交通の各分野の研究および

それらの分野を統合するような研究

●具体的研究テーマ

基本的には学生が興味のあること、やりたいことを提案し議論の上決定する

・景観原論

・景観計画・設計論

・交通空間（施設も含む）の計画・設計関係

・駅空間関係：駅（鉄道駅のみではない）空間に関する計画・設計の研究

・都市史関係：景観、交通、観光等に視座をおいた都市開発史研究

・観光計画関係

・地域づくり関係

・都市計画関係

●ゼミナールの内容

・専門書、論文の輪読

・現地調査

・実務にかかわる調査等

など

・ディベート

●研究室に向く人、向かない人

・向く人

景色を見るのが好きな人、本を読むのが好きな人、議論をするのが好きな人、旅行が好きな人、雑学にたけている人

・向かない人

偉くなりたい人、本といえば漫画の人、体系的でなければ気のすまない人、成績が良いのが偉いと思っている人、研究室にいくと就職が有利になると思っている人



オペラ通り、ピスタアイストップ景



チューリッヒ、トランジットモール

デザイン 研究室

伊澤 岬 教授

江守 央 助手



私たちの研究室は大江戸線「新宿西口駅」「東新宿駅」や「船橋日大前駅・駅前広場」の設計などの実践を通して研究テーマを模索しております。その成果の一部として「交通空間のデザイン」を彰国社より刊行しました（2000）。

近年はNPO活動を通じての市民参加型まちづくりにおいて、道づくりのワークショップなどを学生が企画運営し、ファシリテーターなどの体験も教育の一環に取り入れています。

●卒業研究テーマ

本年度より論文のテーマを新設しました。

設計テーマ：

1. アーバンデザイン（山都、水都、海都のデザイン）

2. マルチモーダル対応の交通空間のデザイン

3. 日本大学ユニバーサルセンター（主婦の友跡地計画プロジェクト）

論文テーマ：

1. 交通空間のユニバーサルデザイン

2. 環境の空間評価について—特に地形を中心として—

3. 観光バリアフリー—京都の境内と世界遺産を対象に—

4. NPO活動とまちづくり—バリアフリーを目指した道

づくり・まちづくりワークショップの実践—

5. コミュニティバスを活用したまちづくり—印西市について—（交通計画第二研究室と共同）

●ゼミナール・テーマ

各種デザインコンペへの参加

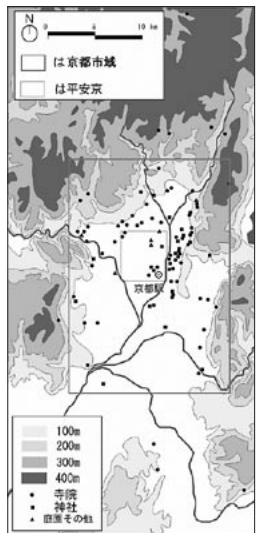
都市・交通空間ウォッチング

●卒業研究、ゼミナール着手条件

条件：景観設計・構造デザイン受講者、および受講予定者

卒業設計「TOKYOビッグステップ」模型写真（大沼）
千葉県建築四会奨励賞受賞

「緑ヶ丘駅〜バラ園間のみちづくりWS」で使ったガリバー地図



京都の地形と境内分布

都市環境計画 研究室

伊東 孝 教授



研究室では、都市計画（まちづくり）、景観工学、交通土木史を3つの柱に掲げています。

21世紀は、20世紀型のスクラップ・アンド・ビルドのまちづくりに代わって、「歴史遺産を生かしたまちづくり」が求められています。これを具体化するため、当研究室では3年間にわたり、広島県鞆の浦で住民参加型の調査とワークショップをおこなっています。

景観工学では、アメニティや視覚的な美を追求、加えて歴史的に形成された美や景観・デザインについても研究しています。

すぐれた土木遺産をみることや、知られざる土木遺産の発見と評価をめざします。当研究室では、自治体の調査はもちろん、国の史跡や重要文化財の調査、海外調査もおこなっています。

●卒業研究テーマ

・広島県鞆の浦—「海の道」ネットワーク

・開港都市におけるインフラの比較研究—横浜市と神戸市を中心にして

・歴史的鋼橋に関する研究—土木学会調査と事例研究

・荒川下流の橋梁史調査

・多摩川万年橋の架け替えと土木史調査

・近代ダムと発電所の文化財評価の研究

・歴史的町並みの調査研究

・高速道路のオーラルヒストリー研究

・東南アジアの文化財保護

●ゼミナール・テーマ

・Excel、Power Pointなどの技術の習得、プレゼンテーションの練習

・広島県鞆の浦でのワークショップ

●卒業研究、ゼミナール着手条件

景観を卒業研究でおこなう学生は、景観設計を受講ないしは受講予定者であること。



熊本県第一白川橋梁



広島県鞆の浦

環境工学 研究室

岩井茂雄 助教授



本研究室では、学生各自が「環境」に基づいたテーマを選定し、研究を行っております。現在までに取り上げたテーマは自動車騒音の低減対策や心理評価、廃棄物の処理と有効利用、安定処理土の中性化防止と未処理土壌への環境負荷低減、浮遊汚濁物質の除去技術の開発、都市の水循環と熱環境などがあります。現時点では都市内のアメニティの確保のため、透水性舗装の適用やアクティブノイズコントロールによりタイヤ・路面騒音を低減させる研究を行っております。一方、内陸湖沼の汚染源の1つである農業からの排水を浄化する技術開発や地表面での熱収支と水循環に関する研究も行っています。また中期的な研究として、汚染された土壌から汚染物質を除去し浄化する研究も進めています。さらに、長期的な研究として、開発途上国のインフラ整備と環境保全のため、熱帯地方のラテライト（赤土）を有効利用する研究も今後行っていく予定です。

また、各地で実施されている環境展などにも積極的に参加しています（写真参照）。

●卒業研究テーマ

平成13年度卒業研究

・水田からの排水に含まれる肥料成分特性とその除去に

関する基礎研究

・高電圧下でのカルシウムイオンの移動特性について

・舗装の熱特性と熱収支について

・路面性状の違いによるタイヤ・路面騒音に関する研究

●ゼミナール・テーマ

・毎年テーマを決めて受講者によるプレゼンテーションと全員でのディスカッション

テーマ：水循環と流域環境（平成12年度）

環境マネジメント（平成13年度）

環境アセスメント（平成14年度）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

なし



ヒートアイランド現象を緩和するブロックの開発紹介（2001年11月、東京ビックサイト）



日大理工・習志野祭での研究室紹介

		738・A 号室
基礎力学 研究室 下 辺 悟 助教 		
◎研究室の名称および場所——基礎力学研究室（738A 室 → 今年 8 月には 7110 室に移動予定） ◎ 研究室の構成員——下辺 悟 助教授、院生 M2 1 名（応用力学研究室所属）、卒研生 6 名 ◎ 研究室のあらまし ・ 昨年の平成 13 年度 4 月より、私こと、下辺が短大土木・環境コースより縁あって社会交通工学科に所属替えと相成り、新しい研究室として居をかまえ、今年で 2 年目を迎えました。 ・ 私は交通工学科（旧称）の第 10 期（昭和 49 年）卒業生です。 ・ 現在の研究室は小スペースですが、それなりに整理・整頓はしているつもりです。 ・ 私は基礎力学Ⅱ、舗装工学、瀝青材料、応用力学Ⅱ・水理学演習、測量実習Ⅱ、製図、交通土木工学実験、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究および短大（建設学科）では特別講義Ⅰ、そして大学院では応用力学特論、交通施設工学演習、交通施設工学特別研究を担当しています。専門は工学基礎としての「土質力学」ならびに「地盤工学」で、土の物性とその工学的性質との関係を主な研究テーマとし		
		しています。 ●卒業研究テーマ ・ フォールコーン試験による土の状態量とせん断強さの評価 ・ ADR 法による土の水分量測定とその応用 ・ 珪藻土の有効活用 ●ゼミナール・テーマ 身近な土を対象に、下記のテーマに沿って資料配付、スライドおよびビデオなどで輪読・ディスカッション形式でゼミを実施する予定です。 ・ 「土」を科学する ・ 怖い「地盤災害」 ・ 新しい学問『地震考古学』 または興味・要望等に応じて、次のような実験・実習も可能です。 ・ 各種土の特性実験 ・ 力学の導入教育支援のための模型製作・実験 ・ 建設現場、研究所見学 ●卒業研究、ゼミナール着手条件 主な研究テーマが地盤材料の基礎・基本に関するもので、どなたでも大歓迎です。
		7211 号室
交通計画第二 研究室 高田邦道 教授 小早川悟 助手  		
研究室では、従来から行っている研究テーマの「地区交通計画」や「物流」に新しいキーワードの ITS、TDM、地球環境、住民参加、情報開示を結合させることを目指して研究しています。具現化されたものとして、端末物流システム構築のための「ポケット・ローディング・システム」やタクシーの呼び出しシステム「タッチ デキャプ」、 「交通事故分析とその対策システム」などがあり、社会実験が実施されています。ポケット・ローディング・システムは、文部科学省の研究費を得て練馬区江古田で社会実験を行い、練馬区石神井公園地区においてはポケット・ローディングの実験に加えて自転車の走行空間を指定した実験を国土交通省の社会実験として行いました。また、日本無線との共同研究によるタクシーの呼び出しシステム「タッチ デキャプ」と国土交通省の社会実験に採用された「交通事故分析とその対策システム」の社会実験は千葉県において実施しました。 平成 13 年度の研究室は、博士課程 1 名、修士課程 5 名、学部生 19 名、3 年ゼミ 18 名が在籍し、さらに科学警察研究所の木戸伴雄先生、理工学部一般教育の古賀義弘先生に研究の支援をお願いして研究活動を行いました。		
		●卒業研究テーマ 都市交通管理の視点からみた駐車マネジメントに関する研究 ・ 月極駐車場の有効利用に関する研究 ・ 端末物流システム構築のための社会実験に関する研究 ・ 自転車道導入に関する研究 ・ 道路空間の有効利用に関する研究 ・ 交通安全対策とその効果に関する研究 ・ アイドリング・ストップ・システムに関する研究 ・ 路上駐車に関する研究 ・ 非日常的交通に関する研究 ・ 地方都市の活性化と現状に関する研究 ●ゼミナール・テーマ 高田邦道教授による講義「これからの交通工学」等「CO₂と交通」の輪読および発表 セミナー、シンポジウム、講習会等の参加 ●卒業研究、ゼミナール着手条件 交通総論、流通工学、交通現象解析Ⅰ、交通現象解析Ⅱを受講していること。

		745・A 号室
情報工学 研究室 中山晴幸 専任講師 		
情報工学研究室は学科のネットワークを管理している研究室です。研究室の構成員は、大学院生 3 名、卒業研究生 18 名です。現在進めている研究は、次の 4 グループに分けられます。 1）ドライバーの疲労に関する研究：ドライバーの疲労を自覚的および客観的観点から調査し、音声解析から疲労度を推定する試みや疲労を軽減する手法について検討しています。また、長距離トラックドライバーの疲労実態調査も実施しています。研究成果は本年 11 月に米国シカゴでの ITS 国際会議で発表する予定です。 2）歩行者の歩行環境に関する研究：都内地下鉄 270 駅の歩行経路およびその歩行距離、環境などを調査し、体に負担の少ない乗換経路情報提供手法を検討しています。今年度から韓国の研究者とソウルの地下鉄を対象に共同研究を行う予定です。また、歩行者のシミュレーション・モデルを構築してコンピュータ上で歩行挙動をシミュレートするシステムも開発しています。 3）GIS（地理情報システム）を利用する研究：約 110 年間に渡る習志野付近の環境変化を提供するシステムと端末交通選択システムを構築しています。		
		721・A 号室
交通システム 研究室 福田 敦 助教授 長井裕美子 助手  		
交通システム研究室では、様々な交通問題へシステム工学的アプローチによって取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画の手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを、交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。 最近、大型車の流入規制やロードプライシングなどの政策が交通走行状態に与える影響を分析するための利用者均衡配分法、消費者の曖昧な商業地選択を推計するためにファジードジットモデルなどを開発しました。今年からは、交差点の制御やバスの運行方式などの改善策を総合的に評価するための交通流シミュレーションモデルやプローブカーシステムのための地理情報システムを活用したモニターシステムの開発に取り組めます。 これらの開発したモデルの適用は、多くの場合、各国の大学の先生や学生あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。本年も、タイのチュラロンコン大学、フィリピンのデ・ラサール大学、アメリカのウースター工業大学などの研究グループと共同で研究を進めています。		
		4）航空輸送関係の研究：欧米ではポピュラーなビジネスジェットの利用が日本では皆無に等しい、地方空港の有効利用がされていない、東アジアにおける航空事情が急変しており、日本の航空輸送環境がそれに対応できないなどの問題を検討しています。 ●卒業研究テーマ 1．長時間運転条件下でのドライバーの疲労に関する研究 2．長距離トラックドライバーの疲労実体調査 3．音声データからの疲労推定に関する研究 4．駅構内の歩行アクセシビリティ評価 5．地下鉄利用者に対する乗換情報提供手法について 6．歩行者シミュレーション・モデルの構築 7．環境変化情報を GIS で提供するシステムについて 8．GIS による端末交通選択システムの構築 9．ビジネスジェットの運用に関する研究 10．地方空港の有効利用に関する研究 11．東アジア地域における航空輸送に関する研究（EU、USA との比較） ●ゼミナール・テーマ ・ 初級システムアドミニストレータ資格修得のための勉強会 ●卒業研究、ゼミナール着手条件 ・ 着手条件はプログラミングを修得したか、受講中の学生。
		221・A 号室
卒研生や大学院生が実際にこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。 ●卒業研究テーマ ・ プローブカーシステムを活用したバンコク都市圏における交通状況の把握方法の開発 ・ 東南アジアにおける二輪車の利用状況調査 ・ マニラ都市圏におけるバス走行方法改善策の評価のためのシミュレーションモデルの開発 ・ サンホセ都市圏におけるバス運行改善策の評価のためのシミュレーションモデルの開発 ・ ダッカ都市圏における都市内軌道系整備計画の評価 ・ 那覇市におけるトランジットモール導入社会実験の評価 ・ アメリカの道路整備事業におけるミチゲーションバンキングシステム活用事例の評価 ●ゼミナール・テーマ ① ODA の中での交通計画の事例についての講義。 ② 世界中から都市を 1 つ選択し交通システムの発達の歴史と現在の交通問題を調査し、発表する。 ③ 数理計画の手法やモデルの開発に必要な基礎的情報処理能力の習得のための演習を行う。 ●卒業研究、ゼミナール着手条件 交通問題の解決に係る職業につくことを希望している者。受講科目に条件を設けないが、数理統計学、オペレーションズリサーチ、交通計画、工業数学、システム工学を受講することを推奨する。		

交通計画第二 研究室（藤井研）

藤井敬宏 専任講師



研究室では、道路・都市・沿岸域の各種空間を対象とした社会基盤整備の評価や環境改善方法について研究を進めています。環境の視点では、環境保全の取り組みとしてアメリカで提案されている自然との共生を図るミチゲーションの概念をわが国の各種計画論と結合させるための方法論を検討しています。また、交通の視点では、協議会やワークショップの開催などを通じて、中心市街地の活性化を図るための交通改善計画や、交通事故の分析・評価、交通バリアフリー化に向けた対応などの検討を試みています。

平成 13 年度のゼミナールは、修士課程 2 年が 1 名、1 年が 5 名、卒研生 18 名、3 年ゼミ生 19 名、研究生 1 名の総勢 44 名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究発表会を年 3 回、卒業研究の各種調査、北海道へのゼミ旅行、バリアフリー点検ワークショップ等への参加など、ゼミ活動を行いました。

●卒業研究テーマ

- ①環境施設帯の整備評価に関する研究
- ②交通バリアフリー化に向けた道路整備優先順位に関する研究
- ③環状道路の機能評価に関する研究

構造工学第一 研究室

星埜正明 教授



人員構成については、担当教員は星埜です。大学院生は、M2 が 1 名、M1 が 3 名です。ゼミⅡ生は 4 名です。

研究対象は構造工学で、主として、鋼構造であるが、鋼・コンクリート合成構造、コンクリート構造も扱っている。学部の科目で言えば、応用力学、鋼構造等が密接な関連を有している。

●卒業研究テーマ

- ・移動繰り返し荷重を受ける RC はりの疲労強度
- ・曲線箱桁橋の力学的特性
- ・合成構造橋梁の力学的特性

●ゼミナール・テーマ

ゼミⅠは、習志野祭を挟んで、前半と後半に分かれる。前半では、習志野祭へ向けて展示構造物の製作を行う。最近では、吊橋や斜張橋が多く、来訪した子供達に遊んでもらっている。後半は応用力学の勉強を行う。

ゼミⅡでは、構造力学（エネルギー法等）の勉強を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

特になし

- ④市道における交通事故分析と改善計画に関する研究
- ⑤既成市街地の交通改善計画に関する研究
- ⑥都市計画事業におけるミチゲーション概念導入に関する研究
- ⑦緑地ネットワークにおける都市空間評価に関する研究
- ⑧沿岸域利用計画の環境評価に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・交通・都市・環境に関連するビデオ、事例報告・研究論文等を題材としたグループ討論
- ⇒ 毎週グループ長をかえて、まとめ方や発表の方法を学びます。
- ・平成 13 年度の内容：
 - 環境に配慮した世界の都市交通対策
 - 地球環境問題解決のための新たなエネルギー開発
 - 自然・生態系の環境を守る取り組みについて etc.
- ・各種セミナー・ワークショップへの参加、現場見学会の実施

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- ・交通現象解析Ⅰ・Ⅱを受講すること。
- ・基本的な統計学を理解していること。



地盤工学 研究室

巻内勝彦 教授

峯岸邦夫 助手



交通荷重を受ける地盤の工学的性質、補強土や環境に適した軽量化地盤材料等を用いる新工法などについて基礎的研究から応用開発まで幅広い研究を行っています。現在、当研究室において保有している主な試験機は、不飽和土三軸圧縮試験機、動的万能三軸圧縮試験機、三連三軸圧縮試験機、繰返し圧密試験機等です。特に不飽和土三軸圧縮試験機（2001 年導入）は、最新型で国内でも数少ない装置で、不飽和試料のみならず弾性波によって非破壊状態で土供試体の変形係数を測定することができる機能を備えています。これら数種の特徴ある装置やその他工夫を施した試験機を使って研究を行い、その研究成果を国内外の各学会等において積極的に発表するとともに、常に現場へのフィードバックをして社会に貢献しています。

●修士論文・卒業研究テーマ（予定）

- ・飽和粘土の繰返し圧密特性
- ・繰返し応力下の火山灰質粘性土の力学特性
- ・土の熱伝導特性
- ・軽量化地盤材料の力学特性
- ・超軽量地盤材ウレタン工法
- ・気泡混合材の衝撃軽減効果

応用力学 研究室

宮森建樹 教授

榎本尚之 助手



博士課程前期 2 年生：2 名、卒業研究着手者：12 名
研究室行事：夏期合宿（卒業研究中間発表）、研究室コンパ（数回）

研究室名は“応用力学”であるが、研究の内容は土の力学的性質とそれらの応用が主となっている。土は人間にとって馴染み深い物質であるが、自然状態にある土や土木材料としての工学的性質は複雑である。研究室ではこのような土の工学的性質の解明につとめている。

●卒業研究テーマ

- ・力学教育におけるコンピュータ支援の一方法
- ・砂の構造異方性と強度に及ぼす影響について
- ・現場発生土のセメントによる安定処理について
- ・締固めた関東ロームの繰返し荷重下における力学特性
- ・背後土の奥行きが主働土圧に及ぼす影響

●ゼミナール・テーマ

資格試験のうち、技術士補、FE（Fundamentals of Engineering）は学部学生も受験資格がある。FE 試験の参考書を用いて勉強し、問題の解答を作成する。就職試験の対策ともなる。

- ・軽量地盤材発泡灰ガラスの力学特性
- ・防振トレンチ壁による地盤振動軽減工法
- ・枝付きショートファイバー混合補強土の力学的特性
- ・ジオシンセティックスチューブの曲げ補強効果
- ・ジオドレン材の水理特性と補強効果
- ・ジオセルの補強効果
- ・補強ソイルカラムの安定性
- ・舗装用ジオシンセティックスの性能特性

●ゼミナール・テーマ

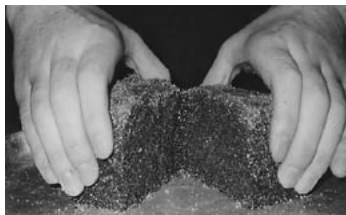
- ①交通路基盤工学へのプロログ（入門講話）
- ②これからの「アース・デザイン（アメニティーとジオスケープとストラクチャーの関係）」を考える（創造的発想に向けての自由討論）
- ③地盤工学におけるこれからの国際標準性能設計法について（ニューフロンティア講座）
- ⑤フィールド・トリップ
- ⑥新素材・新工法（ジオシンセティックス利用技術、補強土工法、軽量盛土工法、ハイグレード地盤改良、など）についての事例紹介

●卒業研究、ゼミナール着手条件

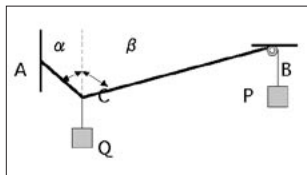
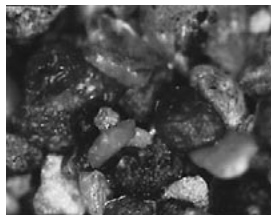
ゼミナールには特に設けていないが、卒業研究着手には、地盤工学分野に興味を持っており、地盤力学、土・基礎構造を受講している者が望ましい。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

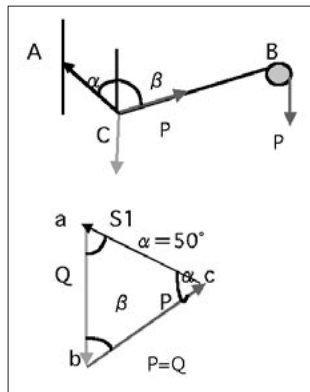
特になし。



砂の構造異方性と強度に及ぼす影響について



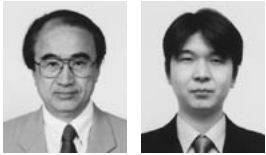
力学支援におけるコンピュータ支援の一方法



構造工学第二 研究室

柳沼善明 教授

齊藤準平 助手



建設材料の中で多く使用されているコンクリートについて材料面と構造面から研究しています。

材料面からでは、地球環境問題が注目されていることから、水にやさしいコンクリート、すなわち「エココンクリート」の開発と使用方法を研究しております。エココンクリートでは強度ばかりではなく、動植物とのかかわりあいを中心に研究しております。一方、水に浮くような軽い超軽量コンクリートの有効利用に関する研究も行っております。

構造面からでは、橋梁を対象とした新しい工法である外ケーブル工法による部材について、破壊実験と解析から安全性を検討しております。また、現在のコンクリート構造物は劣化や損傷が進み、耐久性が失われてきております。損傷したコンクリート構造物について、損傷程度の非破壊検査による診断技術、耐荷力の推定など、さらに、補修・補強に関する研究も行っております。

●卒業研究テーマ

- 環境面から
- ・再生骨材コンクリートの研究。
- ・エココンクリートの研究。

道路交通 研究室

安井一彦 専任講師



道路交通研究室は、平成7年にできた歴史の浅い研究室ですが、安井一彦専任講師の下、大学院生3名、学部4年生19名の総勢23名のほか、7月には3年生も配属されるため、毎年40名ほどの大所帯の研究室です。

ゼミは各学年ごとに週1回ほどあります。3年生は交通工学に関する簡単なプログラミング練習、4年生は交通工学に関する勉強会と卒業研究のミーティングを行っています。大学院生は、修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からの様々な共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるあらゆる現象について研究を行ってきました。しかし、まだ解明されない現象がたくさんあります。これからも幅広い視野をもって、道路交通の効率・安全に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/ROADTRA/koshiken96.html>

●卒業研究テーマ

- ・渋滞交差点の診断と対策案の評価に関する研究
- ・路上駐車と交通容量の関係に関する研究
- ・踏み切り信号機の高度化に関する研究

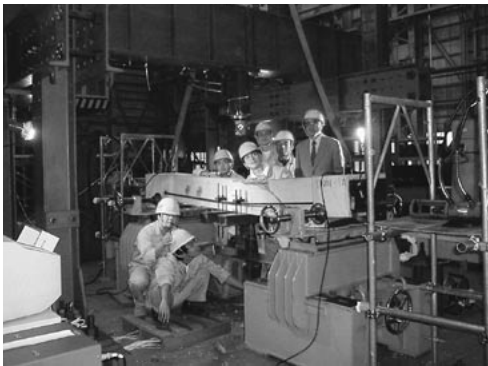
- 新材料から
- ・超軽量骨材コンクリートの研究。
- 保全・メンテナンスから
- ・損傷・劣化したRCはりの診断。
- 新工法から
- ・外ケーブル方式PCはりの研究。

●ゼミナール・テーマ

- ・「プレストレストコンクリート構造学」の教科書を輪読して知識を修得する。
- ・コンクリートに関する随筆を読み、コンクリート全般についての知識を豊かにする。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- 特になし。



載荷試験後の記念撮影（大型構造物試験機にて）

- ・速度抑制のための信号制御手法の評価に関する研究
- ・押しボタン式信号の高度化に関する研究
- ・高速道路における工事区間長と交通容量の関係に関する研究
- ・車両感知器の感知特性に関する研究
- ・歩車分離信号に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・交通工学関連知識のマスター
- ・プレゼンテーションツールの学習

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- 交通工学に情熱を持つ学生。卒業までに、交通流、交通制御は取得してください。



道路交通 研究室

安井一彦 専任講師



道路交通研究室は、平成7年にできた歴史の浅い研究室ですが、安井一彦専任講師の下、大学院生3名、学部4年生19名の総勢23名のほか、7月には3年生も配属されるため、毎年40名ほどの大所帯の研究室です。

ゼミは各学年ごとに週1回ほどあります。3年生は交通工学に関する簡単なプログラミング練習、4年生は交通工学に関する勉強会と卒業研究のミーティングを行っています。大学院生は、修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からの様々な共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるあらゆる現象について研究を行ってきました。しかし、まだ解明されない現象がたくさんあります。これからも幅広い視野をもって、道路交通の効率・安全に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/ROADTRA/koshiken96.html>

●卒業研究テーマ

- ・渋滞交差点の診断と対策案の評価に関する研究
- ・路上駐車と交通容量の関係に関する研究
- ・踏み切り信号機の高度化に関する研究

- ・速度抑制のための信号制御手法の評価に関する研究
- ・押しボタン式信号の高度化に関する研究
- ・高速道路における工事区間長と交通容量の関係に関する研究
- ・車両感知器の感知特性に関する研究
- ・歩車分離信号に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ・交通工学関連知識のマスター
- ・プレゼンテーションツールの学習

●卒業研究、ゼミナール着手条件

- 交通工学に情熱を持つ学生。卒業までに、交通流、交通制御は取得してください。



平成13年度 博士論文・修士論文・卒業研究

博士論文

学位取得者 (取得年月)	主論文名	主査	勤務先
塚田 悟之 (2002 年 03 月)	都市公共交通手段としてのタクシー交通の活用に関する研究	高田邦道 教授	日本無線(株)
周 碧 (2002 年 03 月)	Complex Structural Engineering Designs Based on Knowledge Engineering 知識工学に基づいた複雑な構造工学設計	星埜正明 教授	

修士論文

条例制度による既成市街地の景観誘導に関する研究—千代田区景観条例を事例にして—	堀野真雄	複数経路および複数隘路における動的混雑課金の効果に関する研究	長根尾信博
指導：伊東 孝 教授		指導：越 正毅 教授	
震災復興橋梁の維持管理と架け替え・消失理由—東京を事例として—	松本直樹	環境施設帯の整備評価手法の適用性に関する基礎的研究	江澤雅代
指導：伊東 孝 教授		指導：高田邦道 教授	
広島県の鞆の浦に現存する江戸・明治期の石組み防波堤—構築意図と土木史的意義—	植松弘幸	自転車の走行実態分析による走行空間のあり方	小柳純也
指導：伊東 孝 教授		指導：高田邦道 教授	
丘陵地における自然再生型博覧会場の提案—愛知万博をモデルケースに—	羽根田 健	交通需要特化の激しいイベント交通対策についての検討—特に、スタジアム周辺の歩行者流について—	久利生大輔
指導：伊澤 岬 教授		指導：高田邦道 教授	
フェンダー内のタイヤ・路面騒音の打消し効果に関する基礎的研究	堀 伸司	主観的要因を考慮したファジィロジットモデルによる買物目的地選択行動の分析	関 陽水
指導：岩井茂雄 助教授		指導：福田 敦 助教授	
予告信号灯の設置運用に関する研究	浅野栄吉	繰返し応力を受ける高含水比火山灰質粘性土の変形挙動と軟化現象に関する研究	榎本尚之
指導：越 正毅 教授		指導：巻内勝彦 教授	
トンネル内照度レベル変化に伴う車両挙動に関する研究	清宮広和	繰返し荷重下における発砲ビーズ混入軽量化土の力学特性に関する基礎的研究	高橋 力
指導：越 正毅 教授		指導：巻内勝彦 教授	
出勤交通渋滞の定型性と単純化理論との比較研究	佐藤友英	短繊維補強土のせん断強度特性と靱性に関する研究	山口慎吾
指導：越 正毅 教授		指導：巻内勝彦 教授	
トンネル内照度レベル変化に伴うドライバーの運転挙動に関する研究	庄司 知	高速道路ののり面の景観と保護工に関する基礎的研究	松本貴子
指導：越 正毅 教授		指導：宮森建樹 教授	

卒業研究

■ 交通景観研究室 (天野光一 教授) ……………	シ ョ ン 価 格 を 対 象 に—	藤本匡哉
川越における舟運の衰退と都市の変遷に関する基礎的研究	公開空地の構成空間とその特徴に関する基礎的研究—東京都を対象に—	柳田義崇
大竹一弘		
宇都宮における鉄道交通の導入と都市機能の変遷に関する基礎的研究		
鈴木孝幸		
バンコクにおける交通の変遷と都市発展の関係に関する基礎的研究		
土屋理行		
都市生活者の観点から見た街路のタイプ分類に関する基礎的研究		
松下憲太郎、室田敬司、長谷川祐介		
「道の駅」の整備における地元自治体の地域戦略に関する研究		
福田将志		
景観が不動産価格に与える影響について—隅田川沿いのマン		

新川リバーサイドパーク構想―県立図書館を核としたイベント空間の提案―
菊地 悠

やちよ・ダイナミッククロスプロジェクト―新川と旧都市連合軸によるまちづくり―
森田佳宏

市民参加型のまちづくりの実験―八千代市における「施設」と「みち」のワークショップの成果―
長浜礼生

環境共生・市民参加型まちづくりの提案―船橋市坪井の場合―
川島裕志

■ 都市環境計画研究室 (伊東 孝 教授) ……………

丘陵住宅地の空間構成と住民意識に関する研究―東京都多摩市桜ヶ丘分譲地を事例として―
渡邊高章

施主および設計者の意識からみる景観条例―千代田区景観まちづくり条例を事例として―
葛田真一

消失橋梁の現状分析―中央区震災復興橋梁を事例として―
渡辺寛樹

GISを利用した橋梁配置計画のデザインヒエラルキー分析―震災復興橋梁を対象として―
宮川和工

要塞建設期・要塞整備期における東京湾要塞の装備・配置分析と現況
今関博貴

海からのアプローチ景観―広島県鞆の浦を事例として―
玉井 裕

ウォーターフロント地域における視点場の景観分析―広島県鞆の浦を事例として―
飯島 圭

鞆の浦における歴史的港湾施設に関する研究―斜め壁面の図面化手法による石組み防波堤実態調査と解析―
浦 英一郎、堀江晋平

■ 環境工学研究室 (岩井茂雄 助教授) ……………

水田からの排水に含まれる肥料成分特性とその除去に関する基礎研究
堀野 亮

高電圧下でのカルシウムイオンの移動特性について
篠崎由起子

舗装の熱特性と熱収支について
濱本洋輔

路面性状の違いによるタイヤ・路面騒音に関する研究
藤井健生

■ 道路交通研究室 (越 正毅 教授・安井一彦 専任講師) ………

トンネル内照度レベル変化に伴う車両挙動に関する研究
伊良博樹、永井智規、牧野晋也

高速道路トンネル部におけるドライバーの運転挙動に関する研究
木下創一郎、小阪和弘

信号交差点における渋滞の緩和策とその効果評価―船橋市夏見台交差点―
田村朋義、松田貴之

信号交差点における渋滞の緩和策とその効果評価―上本佐倉交差点―
佐藤 学、三上敦史

東京ディズニーリゾートからの退園車両による渋滞緩和に関する研究
鈴木孝康、高橋 徹

退社帰宅交通に対する動的課金の効果に関する研究
水岩田 敦

出勤交通渋滞の定型性および単純化理論との比較
大脇 理、中田健次郎

押しボタン式信号の系統化に関する研究
杉山高洋、高橋匠史

踏切信号機による交通容量増加に関する研究
石原耕一郎、松井由紀

予告信号灯の表示方式に関する研究
前田圭一郎、村崎のりこ、和田まゆみ

■ 基礎力学研究室 (下辺 悟 助教授) ……………

新しい土の簡便・迅速な含水比測定方法の検討
井上貴史、藤川康裕、岩崎芳雄

拡張フォールコーン法によるコンシステンシー限界の測定とその工学的利用
池田俊輔、今泉 剛、藤川祥司

■ 交通計画第二研究室 (高田邦道 教授) ……………

鎌ヶ谷市における交通事故対策支援システムの構築とその実施可能性について
小宮卓大、里見康弘

東京スタジアム開業後のアクセス交通の実態と課題
中井敬介

月極駐車場の有効利用に関する研究
杉本慶章、関根宏彰

都心部駐車場利用者の移動手段の選択条件
平井孝尚、堀 真也

新宿地区における路上駐車実態に関する研究
廣瀬富之、藤井信茂

江古田地区におけるポケット・ローディング・システムの社会実験
土屋奈緒子、中田雄飛

石神井公園駅周辺の道路空間有効利用に関する考察
赤松秀彦、西村敦史

多目的機能を受け入れるための道路ネットワーク整備に関する研究
小林裕一、関 高子

北習志野周辺における自転車利用の実態
和泉聡志

自転車の走行に配慮した歩道構造の改築
田中俊介 (木戸伴雄 (科学警察研究所))

しまなみ海道の開通に伴う物流形態の変化
中川靖大 (古賀義弘教授 (一般教育))

■ 情報工学研究室 (中山晴幸 専任講師) ……………

長時間運転条件下のドライバーの疲労計測
小林大介、佐藤康之、大和潤一

明治時代から現代までの時系列データを扱う GIS の構築
内田将玄、加藤祐介

歩行挙動シミュレーション・モデルの検討
藤本泰史

地下鉄構内の歩き易さに関する評価について
岩澤雅志、早野純浩

視覚障害者に対する歩行支援に関する歴史と現状
関口隼人

■ 交通計画第一研究室 (榛澤芳雄 教授) ……………

GISを用いた端末交通手段選択システムの構築に関する研究
加納英明、野地裕一

買物行動におけるモビリティに関する研究―千葉市中心市街地を対象として―
鈴木良和、友田俊平

コミュニティバスの動向に関する研究―千葉県導入自治体の取り組みを対象として―
田名部智孝、飛田悟郎

コミュニティバス利用者の交通行動に関する研究―四街道市循環バスを対象として―
上杉哲弘、原 一哲

GISを用いたコミュニティバス路線設定に関する研究―四街道市を例として―
大溪はつみ、大伴謙介、長谷川 愛

WEB 技術を用いた基礎教育システムの構築―オペレーションズリサーチを事例として―
藤谷祐介

「総合的な学習の時間」における支援方策に関する研究―市川市公立小中学校を対象として―
桃野崇弘、渡辺隆史

■ 交通システム研究室 (福田 敦 助教授) ……………

電動アシスト自転車共同利用システム導入社会実験における会員の利用動向分析
中川陽太、小池大輔 (高田邦道教授)

東京都市圏における鉄道サービス水準の評価に関する研究
宮崎講平

東京都市圏における環状道路整備が貨物車交通による排出ガスに与える影響の評価
井上洋一、横関俊也

観測リンク交通量を用いた OD 交通量の推計に関する研究―タイ国、チェンマイ市を対象として―
石坂哲宏、福川里央

マニラ都市圏におけるバス交通の走行状況改善対策が交通ネットワークへ与える影響分析
尾崎まり子

路上駐車 の発生確率推定の基礎的研究
古賀大資、福留直樹

複合商業施設を対象とする発生集中交通量の推計方法に関する研究
久保木陽央、城野知道

那覇都市圏における商業施設に対する住民の意識構造分析
塩原善明

那覇市中心市街地における乗用車利用者の回遊特性に関する研究
金城一也

米国の道路整備事業におけるミチゲーションバンキングシステムの評価に関する研究
関谷匡宣

■ 交通計画第二研究室 (藤井敬宏 専任講師) ……………

環状道路の沿道利用に関する研究
三井雅弘、吉田英雄

環境施設帯の利用状況と整備効果の関連性に関する研究
荒川聡一

CVM を用いた環境施設帯の整備評価に関する研究
飯塚奈央、川崎裕也

鎌ヶ谷市における交通事故と道路整備状況に関する研究
茅野政憲、麦谷大輔

交通弱者のバリアフリー化に対する意識に関する研究
長崎良信

歩道のバリアフリー化における整備優先順位の設定方法に関する研究
川口達也、菊地優仁

ポケット・ローディング・スペースのネットワーク整備に関する研究―練馬区江古田地区を例として―
荒芝良彰、前田夏樹

下田市既成市街地における交通改善計画に関する研究―第二次交通改善計画案に対する意識調査―
今井貴紅子、中川智美

土地区画整理事業におけるミチゲーション概念導入に関する研究
阿部 寛、阿部 良

東京都市圏における鉄道路線の機能分析に関する研究
関 哲史、長谷川陽平

■ 構造工学第一研究室 (星埜正明 教授) ……………

二径間連続曲線鋼箱桁橋の断面変形を考慮したねじり解析
佐野岳生

支間長の短い模型 RC 梁のせん断疲労強度
中村裕司、橋本英明

薄肉開断面ばり理論による合成 2 主桁橋の応力解析
開山義和、諸井敬嘉

■ 地盤工学研究室 (巻内勝彦 教授) ……………

飽和粘土の繰返し圧密現象に及ぼす OCR の影響
石井大悟

火山灰質粘性土の力学特性に及ぼす繰返し載荷回数 の影響
川俣有平

土の熱伝導特性に及ぼす供試体条件の影響
熊田一也

繰返し荷重下における発泡ビーズ混入軽量化地盤材料の力学特性
根本 亮、葛生智史

超軽量発泡硬質ウレタン地盤材の強度変形特性
諏訪智洋

鉄道振動低減に関する住民意識の調査
山下太一郎

リブ付き短繊維混入補強土の強度変形特性
飯沼美明、小林勝博

ジオシンセティックスチューブ補強土の曲げ特性
石郷高彦

粘性土地盤内の水平ジオドレーン材の透水・通水特性
久保田宏明、増田貴之

印刷ろ底質の原位置安定処理と汚濁物質の溶出に関する研究
柄沢陽介、福田みのり

■ 応用力学研究室 (宮森建樹 教授) ……………

力学教育におけるコンピュータ支援の一方法
柏倉 唯、佐藤 歩

高速道路ののり面の景観と保護工に関する基礎的研究
河合康統、桜木裕也、鈴木章仁

砂の構造異方性と強度に及ぼす影響について
神谷洋之、鶴沢純子

円孔を有する硬質土の強度特性
金子大貴、坂口信吾

現場発生土のセメントによる安定処理について
関根健太、岡部圭申、田淵 仁

締固めた関東ロームの繰返し荷重下における力学特性
日野陽介

■ 構造工学第二研究室 (柳沼善明 教授) ……………

再生骨材の有効利用に関する基礎研究―再生骨材コンクリートの強度特性―
関 邦夫

再生骨材の有効利用に関する基礎研究―部材への利用―
若月琢哉

再生骨材の有効利用に関する基礎研究―エココンクリートへの利用―
八巻浩徳

各種コンクリートの支圧強度
高橋周司

RC 橋脚の耐震に関する基礎研究
小倉和也、佐藤岳治

超軽量骨材コンクリートを用いたはりのせん断耐力
平賀 建

外ケーブル方式 PRC はりのせん断耐力―ストラット・タイモデルによる評価―
坂本 豊

塩害を受けた RC 構造物の健全度診断に関する基礎研究
佐藤秀俊、田中健治

研究業績

掲載誌・出版元	題目・作品名・書名	教員名等	発表年月
---------	-----------	------	------

交通景観研究室（天野光一 教授・ 嶋田真一副手）

■ 査読論文

International Symposium on Urban Planning 2001 pp. 502-514	Establishing an Integrated Community in Makati City	Akiko Kishiue, Koichi Amano	01年 8月
--	---	-----------------------------	--------

デザイン研究室（伊澤 岬 教授・ 江守 央 助手）

■ 口頭発表

第4回福祉のまちづくり研究会 全国大会概要集 pp. 159-162	京都の社寺境内における観光バリアフリーについての研究―調査対象とその立地ならびに地形的特徴について―	山本和清 伊澤 岬 他	01年 8月
第4回福祉のまちづくり研究会 全国大会概要集 pp. 11-14	ユニバーサルデザインの試み―八千代市のまちづくり構想―	江守 央 伊澤 岬 他	01年 8月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 369-370	京都の社寺・庭園境内の地形的特徴特に地形形状について	伊澤 岬 他	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 398-399	京都の社寺・庭園境内における観光バリアフリーに関する研究―バリアフリー対応の事例について―	山本和清 伊澤 岬 他	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 360-361	愛知日本国際博覧会会場の計画とデザイン	羽根田 健 伊澤 岬 江守 央	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 362-363	NPO 活動を通じての市民参加型まちづくりの実践―2つのワークショップについて―	江守 央 伊澤 岬 他	01年 11月

■ その他

JCOM BROD BAND（テレビ）	私と八千代のまちづくり―房総・水の回廊構想からNPO活動まで―	伊澤 岬	01年 1月
Apple Town No. 127（雑誌）	「デザインの時代」〈対談〉	伊澤 岬 元谷外志雄（APAグループ代表）	

都市環境計画研究室（伊東 孝 教授）

■ 著書

(社)土木学会	CD-ROM：橋の見方・楽しみ方―東京の橋〈責任編集〉	伊東 孝	01年 4月
---------	-----------------------------	-------	--------

■ 査読論文

(社)土木学会『土木史研究』Vol. 21 pp. 77-88	『近代土木遺産』の評価に関する一考察―発電用ダムの“近代遺跡”調査を事例として―	堀川洋子 伊東 孝	01年 5月
(社)土木学会『土木史研究』Vol. 21 pp. 25-36	近世広島県鞆港の港湾整備と施設群の現存状況に関する研究	市古太郎 植松弘幸 長野隆人 金子慎太郎 伊東 孝	01年 5月

■ 口頭発表

(社)土木学会『年次学術講演会講演概要集』CD-ROM/CS5-010	“土地の歴史”を重視した土木遺産の保存・利活用計画のコンセプトづくり―重要文化財虹濶橋を事例として	堀川洋子 伊東 孝	01年 10月
(社)土木学会 CD-ROM/No. 186	“土地の歴史”を重視した土木遺産の保存・利活用計画のコンセプトづくり―重要文化財「虹濶橋」と柳井「瀬」の橋空間	堀川洋子 小宮山乃輔 大久保文隆 伊東 孝	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 338-339	丘陵地に立地する低層住宅地の景観分析―桜ヶ丘分譲地を事例として	渡邊高章 伊東 孝	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 340-341	千代田区景観条例の運用実態―施主および設計者に対するアンケート調査	堀野真雄 嶋田真一 伊東 孝	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 342-343	明治期の遺構が残る震災復興橋梁・霞橋（横浜市）	香田淳一 伊東 孝	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 344-345	橋のデザイン変化分析と現状把握―中央区海幸橋を事例として	渡辺寛樹 伊東 孝	01年 11月
第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 346-347	震災復興橋梁の現存状況と架け替え・消失理由―東京を事例として	松本直樹 伊東 孝	01年 11月

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 348-349	明治期・東京湾要塞の配置と装備	今関博貴 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	-----------------	------------	---------

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 350-351	スケッチ手法による石造構造物の意識調査	宮川和工 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	---------------------	------------	---------

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 352-353	海からのアプローチ景観―広島県鞆ノ浦を事例として	玉井 裕 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	--------------------------	-------------	---------

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 354-355	ウォーターフロント地域における視点場の景観分析―広島県鞆ノ浦を事例として	飯嶋 圭 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	--------------------------------------	-------------	---------

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 356-357	斜め壁面の図面化手法―広島県鞆ノ浦を事例として	浦英一郎 堀江晋平 市古太郎 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	-------------------------	----------------------	---------

第45回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 358-359	広島県鞆の浦に現存する江戸・明治期の石造防波堤―構築意図と土木史的意義	植松弘幸 市古太郎 伊東 孝	01年 11月
------------------------------------	-------------------------------------	-----------------	---------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 616-617	丘陵地住宅地の空間構成と住民意識に関する研究―桜ヶ丘分譲地を事例として	渡邊高章 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	-------------------------------------	------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 636-637	条例策定による景観誘導の現状と課題―千代田区景観条例を事例にして	堀野真雄 嶋田真一 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	----------------------------------	-----------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 638-639	千代田区景観条例の運用実態―施主および設計者に対するアンケート調査	嶋田真一 伊東 孝 堀野真雄	02年 3月
----------------------	-------------------------	-----------------------------------	-----------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 640-641	ウォーターフロント地域における視点場の景観分析―広島県鞆ノ浦を事例として	飯嶋 圭 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	--------------------------------------	-------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 642-643	海からのアプローチ景観―広島県鞆ノ浦事例として	玉井 裕 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	-------------------------	-------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 700-701	スケッチ手法による石造構造物の意識調査―広島県鞆ノ浦を事例として	宮川和工 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	----------------------------------	------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 716-717	動線調査による広場利用の比較分析―つくばセンター広場と水戸芸術館広場	柴田耕平 伊東 孝 岡野敏典	02年 3月
----------------------	-------------------------	------------------------------------	-----------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 722-723	橋のデザイン変化分析と現状把握―中央区海幸橋を事例として	渡辺寛樹 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	------------------------------	------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 724-725	江戸・東京の下水道の変遷	小林達也 伊東 孝 石原英樹	02年 3月
----------------------	-------------------------	--------------	-----------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 730-731	東京美観地区に関する基礎的研究	高橋寛之 成沢 純 守田真由美 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	-----------------	------------------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 732-733	明治期・東京湾要塞の装備と現況―第二海保現地調査を中心に	今関博貴 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	------------------------------	------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 736-737	震災復興橋梁の現存状況と架け替え・消失理由―東京を事例として	松本直樹 伊東 孝 渡辺寛樹	02年 3月
----------------------	-------------------------	--------------------------------	-----------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 706-707	斜め壁面の図面化手法―広島県鞆の浦の大波止を例として	浦英一郎 堀江晋平 市古太郎 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	----------------------------	----------------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 738-739	鞆の浦における歴史的港湾施設に関する研究―石組み防波堤の実態調査と解析	堀江晋平 市古太郎 伊東 孝 浦英一郎	02年 3月
----------------------	-------------------------	-------------------------------------	----------------------	--------

土木学会関東支部講演概要集 No. 29	関東支部技術研究発表会 pp. 740-741	広島県鞆の浦に現存する江戸・明治期の石造防波堤―構築意図と土木史的意義	植松弘幸 市古太郎 伊東 孝	02年 3月
----------------------	-------------------------	-------------------------------------	-----------------	--------

■ その他

市政 Vol. 50 pp. 10-15	新しいまちづくり資産 近代化遺産	伊東 孝	01年 11月
フロント	土木遺産再発見	伊東 孝	毎月連載
建設業界	ダム風土記	伊東 孝	毎月連載
TVK	かわさき“橋”物語	伊東 孝	01年 6月

環境工学研究室（岩井茂雄 助教授）

■ 査読論文

舗装 36 巻 9 号 pp. 4-10	舗装と熱環境―熱の伝わり方と熱収支―	岩井茂雄	01年 9月
舗装 36 巻 10 号 pp. 4-10	ラハール砂を用いた舗装用コンクリートブロックの特性	ドミナドール・バグ ビラオ 岩井茂雄 轟 幸雄 三浦裕二	01年 10月

Ready Mixed Concrete Association of Singapore, pp. 641-648	Structural Analysis by Surface Deflection of Concrete Block Pavement for Roadways, 26th Conference on Our World in Concrete & Structures	Y. Todoroki, S. Iwai, Y. Miura, K. Arai	01年 8月
--	--	---	--------

■ 口頭発表

(社)土木学会 第56回年次学術講演会講演概要集（第5部門） pp. 66-67	数種類の舗装路面におけるタイヤ／路面騒音について	堀 伸司 岩井茂雄 轟 幸雄 三浦裕二	01年 10月
--	--------------------------	-----------------------	---------

第 44 回日本大学工学部学術研究報告会講演集 pp. 1	印旛沼の環境保全に関する研究（その 2）	森田吉見 岩井茂雄	三浦裕二	01 年 12 月
■ その他				
舗装 37 巻 1 号 pp. 28-30	舗装の景観設計、舗装の質疑応答	岩井茂雄		02 年 1 月
舗装 37 巻 1 号 pp. 30-33	色の持つイメージと舗装、舗装の質疑応答	岩井茂雄		02 年 1 月
基礎力学研究室（下辺 悟 助教授）				
■ 口頭発表				
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 540-541	SS コーンを用いた土のフォールコーン貫入量と液性指数およびせん断強さの相互関係	下辺 悟 宮森建樹	柳澤貴治	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（土木系部会） pp. 550-551	新しい土の迅速・簡便な含水比測定方法	下辺 悟 宮森建樹	関根 喬	01 年 11 月
交通計画第二研究室（高田邦道 教授・小早川 悟 助手）				
■ 著書				
日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-314 p. 38	交通需要マネジメント施策としての路上物流管理に関する研究（その 2）〈監修〉	高田邦道		01 年 12 月
日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-314「交通需要マネジメント施策としての路上物流車管理に関する研究（その 2）」 pp. 1-7	交通需要マネジメント施策としての路上物流管理に関する社会実験への取り組みについての意義	高田邦道	他 1 名	01 年 12 月
日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-314 pp. 19-28	東京都練馬区江古田地区における既存商店街でのポケット・ローディング・システム社会実験のシステム概要について	高田邦道 小早川 悟	他 2 名	01 年 12 月
自由国民社 「2002 現代用語の基礎知識」 pp. 348-365	交通運輸問題用語の解説	高田邦道		02 年 1 月
■ 査読論文				
運輸と経済 61 巻 4 号 pp. 31-37	環境の安全保障としての交通需要マネジメントー日本型の提案ー	高田邦道		01 年 4 月
(社)日本自動車工業会 JAMAGAZINE 35 巻 4 号 pp. 22-23	交通技術者として考える交通安全への道	高田邦道		01 年 4 月
(財)全国建設研修センター 国づくりと研修 92 巻 pp. 6-11	環境共生型都市デービスにみる自転車道計画	高田邦道 小早川 悟		01 年 5 月
第 4 回 IEEE Intelligent Vehicles Symposium	Intelligent Idling Stop System	小早川 悟 高田邦道	他 2 名	01 年 5 月
第 8 回 ITS 世界会議シドニー 2001	The Study on Parking Information Needs for P&R in terms of Parking Lots Users at CBD, ITS00246	小早川 悟 高田邦道		01 年 10 月
第 8 回 ITS 世界会議シドニー 2001	Physical Distribution System Using ITS Technology — PLS Social Experiments in the Commercial Districts adjacent to Residential Areas —	高田邦道 小早川 悟	他 4 名	01 年 10 月
第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 305-308	タクシー乗務記録からみた GPS-AVM システムの導入効果ー栃木県鹿沼市を事例にー	塚田悟之 高田邦道		01 年 10 月
第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 13-16	自転車の専用通行に関する実態ー狭幅員の歩道に関連してー	小柳純也 他 1 名	高田邦道	01 年 10 月
交通工学 No. 1 Vol. 37 pp. 51-61	駅前広場におけるタクシー交通の管理方策	塚田悟之 高田邦道		02 年 1 月
国土と政策 No. 21 pp. 13-17	公共交通のあり方ーその成功の秘訣「安心して歩ける生活環境を軸に」	高田邦道		01 年 11 月
■ 口頭発表				
国際交通安全学会調査報告会 経団連会館・国際会議場	地方自治体における交通安全対策プログラムの提言ー交通事故半減システムの研究ー	高田邦道		01 年 4 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 412-413	月極・時間貸共用駐車場の利用実態	関根 礼 小早川 悟	高田邦道	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 438-439	自転車の自転車道通行に関する実態	小柳純也 高田邦道	木戸伴雄	01 年 11 月
土木計画学研究発表会スペシャルセッション	道路空間の有効利用	高田邦道 小早川 悟 西原相五	他 5 名	01 年 11 月
(財)道路経済研究所第 1 回研究報告会	道路・交通管理施策としての物流マネジメント	高田邦道		02 年 1 月
日本交通政策研究会平成 13 年度研究プロジェクト報告会	道路空間の有効利用	高田邦道		02 年 2 月
国際交通安全学会研究調査内部報告会	市民参加型交通安全対策の実験に向けた社会実験	高田邦道	他 5 名	02 年 3 月
■ その他				
日本大学理工学研究所 p. 70	ITS を考慮した交通情報システムに関する研究（その 2）	高田邦道		01 年 3 月

(財)全国建設研修センター 国づくりと研修 92 巻 pp. 26-29	自転車を都市の交通手段として生かすためには 〈対談〉	高田邦道		01 年 5 月
国際交通安全学会	地方自治体に向けた「交通事故を中期的に半減するための提言」ーモデル地区における事例研究ー 〈監修〉	高田邦道		01 年 6 月
毎日新聞	京福電鉄正面衝突事故ーコメント（システム見直す時期）ー	高田邦道		01 年 6 月
交通工学 Vol. 36 No. 4 pp. 32-33	第 4 回交通工学研究会技術奨励賞表彰授賞のことは	高田邦道		01 年 7 月
日本大学理工学部理工学研究所	「谷藤正三」に関する研究	高田邦道		01 年 9 月
(財)国際交通安全学会 車成熟社会での市民・自治体と交通警察のあり方に関する研究報告書（第 3 章） pp. 8-20	路上駐車対策へのアプローチー米国（シアトル）の事例ー	高田邦道		01 年 9 月
日本大学土木会会報第 2 号 p. 3	「土木学会技術者資格」制度の紹介	高田邦道		01 年 12 月
日本大学理工学研究所	道路交通分野における無線応用システムの研究（その 5）	高田邦道	塚田悟之	01 年 3 月
交通工学 Vol. 37 No. 1 pp. 11-23	交通技術者資格認定制度の発足へ向けて 〈座談会〉	森田緯之 高田邦道	越 正毅 他 3 名	02 年 1 月
日本大学国際シンポジウム「21 世紀の地球と人間の安全保障（総長指定の総合研究）」 pp. 51-56	環境と資源の安全保障からみた地球環境問題	高田邦道		02 年 3 月
日本大学理工学研究所 p. 34	道路交通分野における無線応用システムの研究（その 6）	高田邦道	塚田悟之	02 年 3 月

情報工学研究室（中山晴幸 専任講師）

■ 口頭発表

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 388-389	東南アジアにおける空港特性の比較	佐々木啓人 中山晴幸		01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 410-411	運転時におけるドライバーの疲労計測の試み	小林大介 佐藤康之	中山晴幸	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 394-395	地下鉄構内歩行者空間の歩き易さと最適経路に関する評価手法	早野純浩 岩澤雅志	中山晴幸	01 年 11 月
第 29 回土木学会関東支部 技術研究発表会講演概要集 pp. 688-689	地下鉄構内の歩き易さに関する評価について	早野純浩 岩澤雅志	中山晴幸	02 年 3 月
第 29 回土木学会関東支部 技術研究発表会講演概要集 pp. 712-713	長時間運転条件下のドライバーの疲労計測	小林大介 佐藤康之	中山晴幸 大和潤一	02 年 3 月

■ その他

テレビ朝日ニュース番組「スーパー J チャンネル」	交通問題コメンテーターとして出演、歩行中の携帯電話の使用による視野の狭窄について	中山晴幸		01 年 11 月
---------------------------	--	------	--	-----------

交通システム研究室（福田 敦 助教授・長井裕美子 助手）

■ 著書

(社)交通工学研究会	交通工学ハンドブック 2001 CD-ROM 版	福田 敦 安井一彦 他		01 年 4 月
City Logistics II pp. 303-317	Comparison of Traffic and Environmental Load of Freight Transport-Bangkok and Tokyo	福田 敦 家田 仁 佐野可寸志 高橋 清 Viroat Srisurapanon 金子雄一郎		01 年 6 月
オーム社	システムの計画と実際	梶澤芳雄 福田 敦 他 6 名		01 年 10 月

■ 査読論文

Journal of the WCTR Society	Estimation of Impact to Improve Freight Transport System in Environmental in Bangkok	金子雄一郎 福田 敦		in printing
The Journal of the Eastern Asian Society for Transportation Studies Vol. 2, No. 2 pp. 277-292	Estimation of the Impact of Area License Scheme with Multi-Class User Equilibrium Model	金子雄一郎 福田 敦 Viroat Srisurapanon 小田崇徳		01 年 10 月

■ 口頭発表

第 56 回土木学会年次学術講演会概要集第Ⅳ部門 pp. 762-763	利用者の異質性を考慮したロードプライシング導入による社会経済効果の推計	小田崇徳 福田 敦 金子雄一郎		01 年 10 月
第 56 回土木学会年次学術講演会概要集第Ⅳ部門 pp. 174-175	公共交通指向型開発による沖縄都市モノレールの利用動向の変化	関 陽水 福田 敦 金子雄一郎		01 年 10 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（総合科学部会） pp. 10-11	Model Based Learning に基づく工学導入教育支援システムの構築	青木義男 佐久田博司 福田 敦 泉 隆 深津 誠 星野倫彦		01 年 1 月

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（総合科学部会） pp. 16-17				理工系基本英単語の語彙リスト構築についての考察	葉島千歌 巻内勝彦	福田 敦	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 430-431				ミネソタ州における道路事業などのミチゲーションバンキング実施状況に関する調査	伊東英幸 島崎敏一	福田 敦	01 年 1 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 432-433				那覇市における中心市街地活性化に向けた現況分析	塩原善明 関 陽水	福田 敦	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 434-435				電動アシスト自転車共同利用システム導入社会実験における一般会員の利用動向分析	小池大輔	福田 敦	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集（都市交通計画部会） pp. 436-437				電動アシスト自転車共同利用システムの導入社会実験の取り組み	福田 敦 島崎敏一 宇於崎勝也 岡野道治 青木義男 泉 隆	小山裕三 小早川悟 関根太郎 篠田之孝 小池大輔	01 年 11 月
第 24 回土木学会土木計画学研究・講演集 Vol. 24 pp. 681-684				交通混雑緩和を目的とする普通乗用車専用立体交差実施可能性の検討	小田崇徳	福田 敦	01 年 11 月
第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 pp. 566-567				電動アシスト自転車共同利用システム導入社会実験における利用者動向分析	小池大輔 市野完爾	福田 敦 漆谷真三	02 年 3 月
第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 pp. 584-585				マニラ都市圏におけるバス交通円滑化が交通ネットワークへ与える影響分析	尾崎まり子 福田 敦	石谷昌之 Alexis Fillone	02 年 3 月
第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 pp. 598-599				那覇市中心市街地における買物来街者の回遊行動分析	金城一也 関 陽水	福田 敦	02 年 3 月
第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 pp. 600-601				主観的要因を考慮した買物目的地選択行動の分析—那覇都市圏を対象として—	関 陽水	福田 敦	02 年 3 月
第 29 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集 pp. 602-603				複合商業施設における発生集中原単位の推計に関する基礎的研究	久保木陽央 福田 敦	城野知道 竹内秀城	02 年 3 月
■ その他							
土木学会誌 Vol. 87 No. 1 p. 35				特集土木技術の開発途上国への貢献を考える：2-I 国際貢献の標準化こそ技術移転の鍵	福田 敦		02 年 1 月
国際交通安全学会誌 Vol. 27 No. 1 pp. 73-76				東南アジア諸都市における交通の現状と最近の取り組み	福田 敦		01 年 12 月
交通工学 Vol. 37 No. 1 pp. 29-32				日本大学理工学部船橋キャンパスを中心とする電動アシスト自転車の共同利用社会実験の取り組み	福田 敦		02 年 1 月
交通工学 Vol. 37 No. 2 pp. 41-48				東京都内の道路交通関連データの状況	福田 敦 他 16 名 (大都市交通問題対策検討委員会)		02 年 3 月
交通計画第二研究室（藤井敬宏 専任講師）							
■ 査読論文							
第 36 回日本都市計画学会学術研究論文集 pp. 559-564				既成市街地における住民参加型の交通改善計画策定方法に関する研究—下田市既成市街地を対象として—	藤井敬宏	豊田一樹	01 年 11 月
■ 口頭発表							
第 56 回土木学会年次学術講演会				下田市既成市街地の交通改善計画に対する事業者意識の研究	古澤 亮 他 1 名	藤井敬宏	01 年 10 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 404-405				環状道路における沿道地域の沿道状況の比較に関する研究	林 泰士	藤井敬宏	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 428-429				公共用地の利用状況に関する現状分析	森本浩平	藤井敬宏	01 年 11 月
第 24 回土木計画学研究発表会論文集 pp. 913-916				都市計画事業におけるミチゲーション概念導入に関する研究	森本浩平	藤井敬宏	01 年 11 月
構造工学第一研究室（星埜正明 教授）							
■ 査読論文							
Materials Science Research International, Vol. 7, No. 3, pp. 186-193				Flexural Load-Carrying Capacity and Failure Mechanism of RC Beams with Low Effective Depth under Running Wheel-Load	Abe, T., Kida, T., Sawano, T., Hoshino, M. and Kato, K		01 年 9 月
土木学会構造工学論文集 Vol. 48A pp. 249-256				動的影響を考慮した鋼道路橋 RC 床版の設計曲げモーメント	阿部 忠 澤野利章 加藤清志	木田哲量 星埜正明	02 年 3 月
■ 口頭発表							
第 45 回日本学術会議材料研究連合講演会論文集 pp. 294-295				走行荷重が作用する RC はりのせん断挙動に関する実験的研究	水口一彦 阿部 忠 加藤清志	木田哲量 澤野利章 星埜正明	01 年 9 月

地盤工学研究室（巻内勝彦 教授・峯岸邦夫 助手）

■ 査読論文

The Japan Geotechnical Society, IS-Kyushu 2001, Proc. of the Int. Symp. on Earth Reinforcement, Landmarks in Earth Reinforcement Vol. 1, pp. 83-88	Strain-induced toughness and shearing characteristics of short-fiber reinforced soil	Katsuhiko MAKIUCHI & Kunio MINEGISHI	01 年 11 月
--	--	--------------------------------------	-----------

国際ジオシンセティックス学会日本支部ジオシンセティックス論文集第 16 巻 pp. 9-12	リブ付き短繊維混合補強土のせん断強度特性	星野郁夫 峯岸邦夫	巻内勝彦 山口慎吾	01 年 12 月
--	----------------------	--------------	--------------	-----------

国際ジオシンセティックス学会日本支部ジオシンセティックス論文集第 16 巻 pp. 181-184	水平敷設ジオテキスタイルの面内・面外ドレーン性能	塩野真康 峯岸邦夫	巻内勝彦	01 年 12 月
---	--------------------------	--------------	------	-----------

The Japan Geotechnical Society, International Workshop on Lightweight Geomaterials (IW-LGM2002) , Proceedings of the International Workshop on Lightweight Geo-Materials pp. 119-125	Strenght-deformational characteristics of EPS beads-mixed lightweight geomaterial subjected to cyclic loadings	Kunio MINEGISHI, Katsuhiko MAKIUCHI & Riki TAKAHASHI	02 年 3 月
--	--	--	----------

■ 口頭発表

(社)地盤工学会 第 36 回地盤工学研究発表会発表講演集 pp. 715-716	枝付きショートファイバー混合補強土の強度変形特性	星野郁夫 峯岸邦夫	巻内勝彦 山口慎吾	01 年 6 月
---	--------------------------	--------------	--------------	----------

(社)地盤工学会 第 36 回地盤工学研究発表会発表講演集 pp. 1191-1192	EPS 地中防振壁による地盤振動遮断効果	水上 学 峯岸邦夫	巻内勝彦 水谷羊介	01 年 6 月
---	----------------------	--------------	--------------	----------

(社)地盤工学会 第 36 回地盤工学研究発表会発表講演集 pp. 1193-1194	地中防振壁工法の設計要因に関する一考察	水谷羊介 峯岸邦夫	巻内勝彦 水上 学	01 年 6 月
---	---------------------	--------------	--------------	----------

(社)土木学会 第 56 回年次学術講演会講演概要集 pp. 126-127	繰返し応力下における火山灰質粘性土の力学特性に及ぼす試料攪乱の影響	榎本尚之 峯岸邦夫	巻内勝彦	01 年 10 月
--	-----------------------------------	--------------	------	-----------

(社)土木学会 第 56 回年次学術講演会講演概要集 pp. 426-427	発泡ビーズ混入軽量化地盤材料の変形特性に及ぼす繰返し応力比の影響	高橋 力 巻内勝彦	峯岸邦夫	01 年 10 月
--	----------------------------------	--------------	------	-----------

(社)土木学会 第 56 回年次学術講演会講演概要集 pp. 2-3	ブロック舗装用繊維材料の性能評価方法に関する一検討	加藤寛道 巻内勝彦 加護 護	(学外)	01 年 10 月
------------------------------------	---------------------------	----------------------	------	-----------

(社)日本道路協会 第 24 回日本道路会議論文集	ブロック舗装クッション層下の繊維材料性能評価に関する検討	加藤寛道 巻内勝彦 加護 護	(学外)	01 年 10 月
---------------------------	------------------------------	----------------------	------	-----------

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 538-539	繰返し荷重下における関東ロームの変形特性に及ぼす載荷回数 の影響	榎本尚之 峯岸邦夫	巻内勝彦 村田公宏	01 年 11 月
--------------------------------------	-------------------------------------	--------------	--------------	-----------

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 548-549	交通荷重下におけるビーズ混入軽量化地盤材料の基本的力学特性	峯岸邦夫 高橋 力	巻内勝彦	01 年 11 月
--------------------------------------	-------------------------------	--------------	------	-----------

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 574-575	ジオテキスタイルドレーン材の地盤内通水・透水特性	塩野真康 峯岸邦夫	巻内勝彦	01 年 11 月
--------------------------------------	--------------------------	--------------	------	-----------

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 16-17	理工系基本英単語の語彙リスト構築についての考察	葉島千歌 (一般教育教室) 福田 敦 巻内勝彦	01 年 11 月
------------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-----------

(社)土木学会関東支部 第 29 回技術研究発表会講演概要集 pp. 418-419	発泡ウレタン地中防振壁の振動遮断効果—広島市国道 2 号線沿線における施工事例—	水上 学 峯岸邦夫	巻内勝彦 水谷羊介	02 年 3 月
--	--	--------------	--------------	----------

(社)土木学会関東支部、第 29 回技術研究発表会講演概要集 pp. 420-421	鉄道沿線部の住居域における交通振動に関する調査	山下太一郎 巻内勝彦 水上 学	峯岸邦夫	02 年 3 月
--	-------------------------	-----------------------	------	----------

(社)土木学会関東支部 第 29 回技術研究発表会講演概要集 pp. 406-407	繰返し荷重下における発泡ビーズ混入軽量化粘性土の変形特性	葛生智史 巻内勝彦 根本 亮	峯岸邦夫 高橋 力	02 年 3 月
--	------------------------------	----------------------	--------------	----------

(社)土木学会関東支部 第 29 回技術研究発表会講演概要集 pp. 394-395	黒龍江地方における粘性土路床の締固め特性	金順 浩 峯岸邦夫	巻内勝彦	02 年 3 月
--	----------------------	--------------	------	----------

■ その他

(社)地盤工学会 学会誌「土と基礎」Vol. 49, No. 4 Ser. No. 519 pp. 51-57	軽量地盤材料の物性評価と適用 3. 軽量地盤材料の物性とその評価方法（その 1）	峯岸邦夫 (学外) 他 3 名	菊池喜昭	01 年 4 月
---	--	--------------------	------	----------

応用力学研究室（宮森建樹 教授・榎本尚之 助手）

■ 著書

理工図書	不静定構造の力学（共著）	宮森建樹	01 年 5 月
------	--------------	------	----------

■ 口頭発表

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 576-577	高速道路ののり面保護工とその景観に関する基礎的研究	松本貴子 宮森建樹	01 年 11 月
--------------------------------------	---------------------------	--------------	-----------

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 540-541	SS コーンを用いた土のフィルコーン貫入量と液性指数およびせん断強さの相互関係	柳澤貴治 宮森建樹	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 550-551	新しい土の迅速・簡便な含水比測定方法	関根 喬 下辺 悟 宮森建樹	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 552-553	セメントミルク改良土の基礎的研究	岡部圭申 関根健太 田淵 仁 菊池大輔 宮森建樹 青山 要	01 年 11 月

構造工学第二研究室（柳沼善明 教授・齊藤準平 助手）

■ 査読論文

(社)土木学会 コンクリート技術シリーズ 第 42 号 p Ⅱ -1 ～Ⅱ -10	コンクリート中で腐食した鉄筋の力学的特性、性能照査型システムにおけるコンクリート構造物の補強	柳沼善明 入江 徹	01 年 6 月
プレストレストコンクリート技術協会 第 11 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集 pp. 815-820	外ケーブル方式 PRC はりのせん断耐力	柳沼善明	01 年 11 月

■ 口頭発表

第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 522-523	再生骨材コンクリートの強度特性	関 邦夫 八巻浩徳 若月琢哉 柳沼善明	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 524-525	RC はりの非破壊試験による健全度診断	佐藤秀俊 田中健治 柳沼善明	01 年 11 月
第 45 回日本大学理工学部学術講演会講演論文集 pp. 536-537	ストラット・タイモデルによる外ケーブル方式 PRC はりのせん断耐力の評価	坂本 豊 柳沼善明	01 年 11 月

道路交通研究室（安井一彦 専任講師）

■ 著書

(社)交通工学研究会	交通工学ハンドブック 2001 CD-ROM 版	福田 敦 安井一彦	01 年 4 月
------------	--------------------------	-----------	----------

■ 査読論文

第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 89-92	複数経路と単一経路に隘路が複数存在する場合における動的混雑課金の効果に関する研究	石山静樹 越 正毅 安井一彦 雨宮宏和	01 年 10 月
第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 17-20	中央線変移による中央走行バスレーンの運用効果に関する研究	神蘭亜紀 越 正毅 安井一彦 川村治代	01 年 10 月
第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 257-260	右折青矢現示のある交差点における黄表示の使われ方に関する研究	島村洋介 越 正毅 安井一彦 星川健太郎	01 年 10 月
第 21 回交通工学研究発表会論文報告集 pp. 265-268	プローブカーを用いた交通信号制御のオフライン最適化に関する研究	吉田和樹 越 正毅 安井一彦	01 年 10 月
毎日新聞大阪版朝刊	命を守る分離信号とは	安井一彦	01 年 10 月

社会的活動

■ 天野光一 教授

富士市 都市景観審議会会長
静岡県 都市景観賞審査委員会委員
富士宮市 都市景観審議会会長
都市計画学会 編集委員会委員
土木学会 土木史研究委員会編集小委員会委員

■ 伊澤 岬 教授

船橋市 海を活かしたまちづくり懇談会委員
船橋市 海を活かしたまちづくり推進協議会委員
印西市 木下貝層・活用検討委員会委員
国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会委員
国土交通省 道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会 WG 委員
土木学会 景観・デザイン委員会委員

■ 伊東 孝 教授

(社)土木学会関東支部 広報委員会「土木の歴史めぐり」委員長
(社)土木学会 土木史研究編集小委員会小委員長
(社)土木学会 土木史研究オールラ・ヒストリー研究準備小委員会小委員長
(社)土木学会 土木史研究委員会副委員長
(社)土木学会 論文賞選考委員会委員
(社)土木学会 鋼構造委員会歴史的鋼橋調査小委員会委員
(財)港湾空間高度化環境研究センター 湾口航路調査検討委員会委員
(財)国土技術センター 旧岩淵水門土木技術評価委員会委員
(財)江戸東京博物館 運営委員会企画展示専門部会委員
文部科学省 文化庁文化審議会専門委員
埼玉県 文化財保護審議会専門委員
東京都 景観審議会専門員
千代田区 景観まちづくり審議会委員

千代田区、美観地区ガイドプラン検討会副委員長
産業考古学会 理事
(社)日本ナショナル・トラスト 理事
全国町並み保存連盟 副会長

■ 岩井茂雄 助教授

(社)土木学会 表彰委員会委員
(社)土木学会 技術功労賞選考委員会副委員長
(社)土木学会 継続教育実施委員会幹事
(社)土木学会 継続教育実施分科会主査
(社)土木学会 生涯学習小委員会委員
(社)地盤工学会 地盤工学表記法検討委員会幹事兼委員
(社)地盤工学会 地盤工学用語辞典（仮称）改訂編集準備委員会委員
(社)日本石灰協会 石灰安定処理委員会浚渫土利用部会幹事兼委員
(社)日本石灰協会 石灰安定処理委員会材料分科会委員

(財)防衛施設技術協会 評議員
(株)建設図書 「舗装」編集委員会委員

■ 小早川 悟 助手

(社)交通工学研究会 広報委員
練馬区 自転車走行空間創出のための路上荷捌き路外転換実験協議会ポケット・ローディング検討部会部会長
練馬区 自転車走行空間創出のための路上荷捌き路外転換実験協議会自転車走行空間創出検討部会部会長

■ 下辺 悟 助教授

(社)地盤工学会 基準部会部員（JIS 担当）
人事院 平成 14 年度国家公務員採用Ⅱ種試験（土木）試験専門委員
(社)土木学会 継続教育教材作成分科会委員

■ 高田邦道 教授

(社)土木学会 土木計画学研究委員会研究小委員会委員長
(社)日本都市計画学会 評議員
日本駐車場工学研究会 理事
日本社会情報学会 評議員
羽村市 長期総合計画審議会委員
千葉県 大気環境保全対策専門委員
千葉県警察本部 千葉県 UTMS 推進連絡協議会会長
白井市 都市計画審議会会長
練馬区 自転車走行空間創出のための路上荷捌き路外転換実験協議会会長

■ 福田 敦 助教授

(社)土木学会 土木計画学研究委員会幹事兼委員
(社)土木学会 技術推進機構技術者教育プログラム審査委員会幹事
(社)土木学会 技術推進機構技術者教育プログラム審査委員会広報小委員会幹事長
(社)土木学会 資格制度「調査・計画」分野別小委員会委員
(社)交通工学研究会 大都市交通問題対策委員会委員
(社)交通工学研究会 研究委員会委員
(財)国際交通安全学会 学会誌編集委員会委員
(財)国際交通安全学会 ISSOT アドバイザー
計画・交通研究会 事務局次長

アジア交通学会 国際學術委員会委員
国際協力事業団 チェンマイ市交通環境調査作業監理委員会委員長
(財)海外運輸協力協会 平成 13 年度エコトランスポート協力支援事業委員会（国土交通省委託）委員長
千葉県 TDM 施策研究部会顧問
八千代市 都市計画審議会委員
那覇市 トランジットマイル社会実験推進委員会幹事会副幹事長

■ 藤井敬宏 専任講師

船橋市 都市計画審議会委員
柏市 柏市移動円滑化基本構想策定検討委員会委員

■ 星埜正明 教授

(社)土木学会 鋼構造委員会委員
鋼橋技術研究会 設計部会長

■ 巻内勝彦 教授

日本学術会議 社会環境工学研究連絡委員会委員
経済産業省 日本工業標準専門委員会（JIS 土木）委員
(社)土木学会 ISO 対応特別委員会幹事兼委員
(社)土木学会 細粒分の境界粒径に関する検討小委員会委員長
(社)地盤工学会 ISO 検討委員会委員長
(社)地盤工学会 ジオシンセティックス国際標準対応委員会委員
(社)地盤工学会 国際地盤工学会 TC9 国内委員会委員
(社)地盤工学会 調査部特別委員
(社)地盤工学会 International Workshop on Lightweight Geomaterials, International Advisory Committee 委員
国際ジオシンセティックス学会（IGS）日本支部 副支部長
国際ジオシンセティックス学会（IGS）日本支部 技術情報編集委員会委員長
国際ジオシンセティックス学会（IGS）日本支部 ジオメンブレン技術委員会スーパーバイザー
(社)電気設備学会 電力用ケーブルの地中埋設の施工方法 JIS 改正原案作成調査委員会委員長
(社)インターロッキング舗装技術協会 監事
(社)インターロッキング舗装技術協会 関東支部技術委員会委員長
(社)インターロッキング舗装技術協会 技術部会特別委員
(社)繊維評価技術協議会 ジオテキスタイル透水・通水試験方法 JIS 原案作成委員会委員長

(社)日本繊維学会 ジオテキスタイル研究会顧問
(社)日本建材産業協会 ブロック舗装用繊維材料の性能評価方法調査研究委員会委員長
(社)日本建材産業協会 ブロック舗装用繊維材料の国際標準化検討委員会委員長
(財)土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法マニュアル改訂委員会委員長
(財)土木研究センター 土木工学国際研究交流助成制度選考委員会委員
(財)土木研究センター 現場発泡ウレタン軽量盛土材料フォームライト審査証明委員会委員
(財)土木研究センター 袋詰め根固め工法用材ボトルユニット審査証明委員会委員
(財)土木研究センター 袋詰め根固め工法用材ファイバーユニット審査証明委員会委員
(財)高速道路技術センター 気泡混合軽量土の設計・施工に関する検討委員会委員

■ 峯岸邦夫 助手

(社)土木学会 生涯学習小委員会幹事兼委員
(社)土木学会 技術功労賞選考委員会幹事
(社)土木学会 継続教育教材（土木分野における Web 教材コース 3）作成分科会委員
(社)地盤工学会 International Workshop on Lightweight Geomaterials 実行委員会幹事兼委員
(社)地盤工学会 入門書等企画委員会委員
(社)地盤工学会 「地盤工学技術者のための衛星リモートセンシング入門」編集委員会幹事兼委員
(社)地盤工学会 「土の見方入門」編集委員会 編集委員兼執筆委員
(社)地盤工学会 環境負荷低減・コスト縮減を目指した混合地盤材料の適用性に関する研究委員会委員
国際ジオシンセティックス学会（IGS）日本支部 幹事
国際ジオシンセティックス学会（IGS）日本支部 行事委員会委員長

■ 柳沼善明 教授

(社)土木学会 コンクリート構造物の非線形解析技術研究小委員会委員

■ 安井一彦 専任講師

(財)日本交通管理技術協会参与（兼職）
千葉県警察本部 UTMS 推進協議会 幹事長
新潟都市圏 TDM 施策検討委員会 新潟県・新潟市 副委員長
(財)日本交通管理技術協会 わが国の交通管理に関する在日外国人の意識調査委員会委員長

学外学術活動

■ 天野光一 教授

パネルディスカッションコーディネータ：第 4 回景観・デザインワークショップ（東京工業大学）／土木学会 2002. 1. 21

■ 伊澤 岬 教授

講演：「私の千葉県構想とまちづくり」／千葉ロータリークラブ 2001. 4. 2
講演：「交通空間のデザイン」／東京都高度建設技術研修・都市計画コース 2001. 7. 2
講演：「海生都市圏に求められる理念—厳島の技と匠そして海の道」／広島商工会議所 2001. 7. 30
講演：「都市と景観を考える—駅と都市形成の視点から」／土木学会全国大会研究協議会 2001. 10. 2
記念講演：「参加型まちづくりの可能性」／NPO 法人ネット房総設立シンポジウム 2001. 11. 24
講演：「私と八千代のまちづくり—房総・水の回廊構想から NPO 活動まで—」／八千代市商工会議所 2001. 12. 13

■ 伊東 孝 教授

講演：「橋と景観（隅田川橋梁他）」／日本工営 2001. 6. 12
講演：「近代土木遺産の見方・楽しみ方、そして調べ方（1）～（6）」／都民カレッジ 2001. 7. 12・19・26、9. 6・13・20

(財)高速道路調査会 交通工学研究部会委員
(財)高速道路調査会 交通運用研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通安全施設の効果に関する調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通渋滞の将来予測技術に関する調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 歩車分離信号に関する検討委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 交通渋滞統計及び収集方法に関する調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 都市圏交通円滑化総合対策推進調査研究委員会委員
(財)日本交通管理技術協会 高速交通に関する調査研究委員会事務局
(社)新交通管理システム協会 警察の ITS にかかわるシステムアーキテクチャ調査研究委員会委員
(財)道路サービス機構 道路サービスアドバイザー
(社)交通工学研究会 平面交差の設計と運用改定委員会幹事
(社)交通工学研究会 交通工学査読委員会委員
(社)交通工学研究会 首都高速道路における交通安全対策調査研究委員会委員
(社)交通工学研究会 交通信号機の整備・運用に関する調査研究委員会委員
(社)交通工学研究会 交通事故対策マニュアル検討委員会委員
(社)交通工学研究会 交通技術に関する認証制度検討小委員会委員
(社)交通工学研究会 雑誌交通工学編集委員会委員
(社)交通工学研究会 容量委員会委員
(社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改定委員会幹事
(社)交通工学研究会 側道合流部交差点構造検討委員会委員

講演：「下町の橋とまちづくり」／東京都現代美術館 2001. 7. 29
総括報告：『第 24 回全国町並みゼミ小樽大会』／全国町並み保存連盟・実行委員会 2001. 9. 30
司会：第 56 回年次学術講演会共通セッション「土木遺産の保存・活用—保存工学的視点から（1）（2）」（熊本大学）／土木学会 2001. 10
案内：「横浜の近代化遺産」／主催日本コンクリート協会 2001. 10. 26
講演：「近代化遺産を活かしたまちづくり」／東京都研修講座 2001. 10. 30
講演：「埼玉県の近代化遺産」／芝浦工業大学市民講座 2001. 10. 31
講演：「万代橋の土木遺産的意義について考える」／『万代橋シンポジウム』・新潟市万代市民会館 2001. 11. 8
講演：「近代化遺産」／道路公団 OB 会（グランド Arc 半蔵門） 2001. 11. 20
講演：「近代化遺産とまち」／『アートプロジェクト 検見川送信所 2001 滞が見えるよ』・千葉大学 2001. 11. 25
講演：「東京の橋」／公園協会 2001. 12. 17
対談：陣内秀信「軀の浦の魅力と未来」／『軀の浦シンポジウム』・軀の浦シンポジウム実行委員会 2002. 3. 21

■ 岩井茂雄 助教授

講師：透水性舗装でアメニティ向上／透水性・排水性舗装研修会・全国建設研修センター 2001. 5. 15
講演：Evolution of Mass Transport System/Technologies, Centennial Congress on Engineering, Science & Technology and Industrial Education, Technological University of the Philippines 2001. 10. 18 (paper contribution)

■ 高田邦道 教授

閉会の挨拶：車社会はどう変わるか③／「交通と都市文化」シンポジウム・京都市国際交流会館 2001. 6. 2
講演：交通需要マネジメント（TDM）施策としての駐車対策／(社)駐車場工学研究会平成 13 年度都市計画研修会・野口英世記念館 2001. 7. 13
司会：第 24 回土木計画学研究発表会スペシャルセッション／高知工科大 2001. 11. 23
パネルディスカッション：交通事故半減を目指して／第 40 回千葉県交通安全県民大会・青葉の森公園芸術文化ホール 2001. 11. 15
講演：道路・交通管理施策としての物流マネジメント／(財)道路経済研究所・経団連会館 2002. 1. 31
講演：物流システムの改善方策と効果／国土交通省国土技術政策総合研究所研修・露山会館 2002. 2. 27
基調講演：これからの道づくりと社会実験／練馬区パークロードトライアル 2002 シンポジウム・大泉学園ゆめりあホール 2002. 3. 7
パネルディスカッション：自転車と人と車が折り合う道づくり／練馬区パークロードトライアル 2002 シンポジウム・大泉学園ゆめりあホール 2002. 3. 7
パネルディスカッション：「21 世紀の地球と人間の安全保障を考える」／日本大学国際シンポジウム「21 世紀の地球と人間の安全保障（総長指定の総合研究）」 2002. 3. 13
記念講演：道路空間利用の構造改革／日本交通政策研究会・霞ヶ関ビル東海大学校友会館 2002. 3. 26

■ 福田 敦 助教授

司会：第 3 回土木学会インターナショナルサマーシンポジウム（東京大学）／土木学会 2001. 8. 8
講演：第 7 回 IATSS セミナー（経団連会館）／国際交通安全学会 2001. 9. 19
司会：第 56 回土木学会年次学術講演会（熊本大学）／土木学会 2001. 10. 2
司会：The 4th Conference of EASTS（ベトナム、ハノイ）／アジア交通学会 2001. 10. 25
司会：特別講演「UCR Intellishare Shared Vehicle System」／理工学部 2001. 10. 27
コメンテータ：第 23 回土木計画学研究発表会（高知工科大学）／土木学会 2001. 11. 24
講師：JICA 第三国研修 EXETRAM IV（フィリピン大学交通研究センター）／国際協力事業団・フィリピン大学交通研究センター 2001. 12. 3-5
講演：「アジア大都市における持続可能な都市交通戦略の提言に向けて；物流政策分析—東京・バンコク・マニラを事例として—」／持続可能な都市交通戦略に関する国際シンポジウム（国際交流基金）・AGS/ 東京大学 2002. 1. 25

講師：那覇市国際通り会定例講習会（ホテル西部オリオン）／国際通り会 2001. 12. 21
講演：「Urban Development and Urban Transport in Japan and Thailand」／Seminar on Urban Development: Urban Development Strategy in Japan and Thailand（バンコク）・国際協力事業団 タイ政府都市地方計画局（DTCP）2002. 3. 28

■ 藤井敬宏 専任講師

パネルディスカッション：地域都市港湾と地域間交流／東北物流圏シンポジウム 2001. 10
ワークショップ：柏市「バリアフリー点検ワークショップ」 2001. 10

■ 巻内勝彦 教授

座長：第 36 回地盤工学研究発表会（徳島市）ディスカッションセッション／(社)地盤工学会 2001. 6. 12
座長：第 29 回技術研究発表会（山梨大学）第 3 部門／(社)土木学会関東支部 2002. 3. 14
講演：超軽量ジオフォーム盛土工法／新潟県庁 2001. 10. 16
講演：地盤関係 ISO 活動の現況と今後の課題／国土交通省国土総合研究所 2002. 3. 4
パネルディスカッション：International Workshop on Lightweight Geomaterials 2002. 3. 27

■ 峯岸邦夫 助手

司会：第 45 回日本大学理工学部学術講演会（日本大学）土木系／日本大学理工学部 2001. 11. 13
副座長：第 16 回ジオシンセティックスシンポジウム／国際ジオシンセティックス学会日本支部（中央大学）2001. 12. 6
副座長：第 29 回技術研究発表会（山梨大学）第 3 部門／(社)土木学会関東支部 2002. 3. 15

■ 柳沼善明 教授

司会：第 11 回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム／プレストレストコンクリート技術協会 2001. 11. 1-2
司会：土木学会補強設計小委員会報告会／土木学会 2001. 6. 1

■ 安井一彦 専任講師

基調講演：子供たちの命を守る分離信号とは／毎日新聞社・豊中市教職員組合共催 2001. 10. 20
基調講演：日本の交通情報提供システム／ソウル市政開発研究院 2001. 4. 13
座長：第 56 回土木学会全国大会第四部門（熊本大学）／土木学会 2001. 10

海外出張

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
天野光一 教授	2001 年 9 月 19 日～ 30 日／ヨーロッパの道路景観、環境の調査(道路緑化保全センター海外調査団団長として)／オーストリア・スイス
伊東 孝 教授	2001 年 8 月 13 日～ 23 日／世界遺産ヨセミテ公園、フーバーダムの現地調査／アメリカ合衆国
岩井茂雄 助教授	2001 年 8 月 27 日～ 31 日／第 5 回土木工学会議および第 3 回環太平洋機械工学会議共同開催打ち合わせ／フィリピン
小早川 悟 助手	2001 年 10 月 1 日～ 7 日／第 8 回 ITS 世界会議シドニー 2001 論文発表／豪国シドニー市
高田邦道 教授	2001 年 6 月 6 日～ 11 日／ワシントン大学卒業式視察出席ならびにシアトル市の交通・道路管理の視察／米国ワシントン州シアトル市
中山晴幸 専任講師	2002 年 3 月 28 日～ 31 日／航空輸送に関する研究打合せおよび地下鉄歩行環境に関する研究打合せ／韓国
福田 敦 助教授	2001 年 7 月 23 日～ 27 日／国際協力事業団タイ国チェンマイ市交通環境改善計画調査 IC／R 協議に係る現地作業監理／タイ
福田 敦 助教授	2001 年 9 月 6 日～ 16 日／総長指定研究のための現地調査と作業打合せ／米国
福田 敦 助教授	2001 年 7 月 23 日～ 27 日／アジア交通学会司会、国際学術委員会参加／ベトナム
福田 敦 助教授	2001 年 12 月 2 日～ 5 日／マニラ都市圏の交通データ調査および第三国研修 EXETRAM IV における講師／フィリピン
福田 敦 助教授	2001 年 12 月 8 日～ 15 日／「エコトランスポート協力支援事業」に係る現地調査／コスタリカ
福田 敦 助教授	2002 年 3 月 18 日～ 24 日／「エコトランスポート協力支援事業」に係る公共運輸省等との協議／コスタリカ
福田 敦 助教授	2002 年 3 月 26 日～ 4 月 1 日／国際協力事業団 タイ都市開発技術向上プロジェクト「プランニング分野」の短期専門家／タイ
安井一彦 専任講師	2001 年 4 月 12 日～ 15 日／ソウル新交通管制システム評価プロジェクト支援／韓国
安井一彦 専任講師	2002 年 1 月 21 日～ 27 日／交通管理技術等移転のための現地調査／マレーシア

助成研究・委託研究

助成金名・委託元等（研究期間） 研究課題	教員名
日本大学学術研究助成金（2001. 4 ～ 2002. 3） 導電現象を利用した安定処理土の中性化防止に関する研究	岩井茂雄助教授
日本大学学術研究助成金（2001） ユニバーサルデザインのまちづくりについての研究―特にコミュニティバスと住民意識の関係について―	江守 央助手
総長指定の総合研究 21 世紀の地球と人間の安全保障 環境と資源の安全保障プロジェクト … 高田邦道教授（研究代表者）・福田 敦助教授・藤井敬宏専任講師・小早川 悟助手他 24 名	
科学研究費補助金・日本学術振興会（2000. 4 ～ 2003. 3） 端末物流システム構築のための社会実験的研究	高田邦道教授・藤井敬宏専任講師・小早川 悟助手他 7 名
日本信号㈱（2001. 4 ～ 2002. 3） ITS を考慮した交通情報システムに関する研究（その 3）	高田邦道教授
交通システム電気㈱（2001. 4 ～ 2002. 3） インテリジェント・アイドリング・ストップ・システムに関する研究	高田邦道教授
日本無線㈱（2001. 4 ～ 2002. 3） 道路交通分野における無線応用システムの研究（その 5）	高田邦道教授
羽村市（2001. 4 ～ 2002. 3） 人にやさしい道路ネットワーク化工事基本計画	高田邦道教授
（財）佐川交通社会財団 交通安全調査研究振興助成（2001. 4 ～ 2002. 3） 大規模施設の開発に伴う交通特性に関する調査研究	福田 敦助教授他 2 名
平成 13 年度理工学部特別推進研究 A（2001. 4 ～ 2002. 3） 理工学部船橋キャンパスにおけるカーシェアリングシステム導入社会実験	福田 敦助教授（研究代表）・小早川悟助手他 8 名
国土技術政策総合研究所調査研究（2000. 10 ～ 2002. 3） 物流関連企業の行動メカニズムを考慮した交通量推計手法の開発	福田 敦助教授他 4 名
（財）国土技術研究センター（2002. 2 ～ 2003. 1） 都市道路の渋滞緩和に関する研究	福田 敦助教授（研究代表）他 1 名

研究奨励寄付金・天龍工業㈱（2001 年度） ジオテキスタイルの強化開発に関する研究	巻内勝彦教授
研究奨励寄付金・前田工織㈱（2001 年度） ジオテキスタイルに関する研究	巻内勝彦教授

研究奨励寄付金・㈱ジオデザイン（2001 年度） 地盤軽量化材ウレタンフォームに関する研究	巻内勝彦教授
オーデックス（2001 年度） トンネル手前における標識検討のための現地走行実験及びデータ分析	安井一彦専任講師

（財）佐川交通社会財団 交通安全調査研究振興助成（2001. 4 ～ 2002. 3） 交通事故防止のためのカーブ・勾配に近接する交差点における効果的な事前予告手法に関する研究	安井一彦専任講師
---	----------

平成13年度 各賞受賞者

賞（受賞年月）	教員名
第 4 回交通工学研究会 技術奨励賞（2001 年 5 月）	高田邦道教授他 3 名

平成13年度 学生の活動

主催者（受賞年月）／ 賞などの内容	受賞者氏名
-------------------	-------

㈱都市開発技術サービス（2001 年 11 月）／船橋日大前駅周辺坪井地区 夏休み・学生まちづくりアイデア募集	最優秀賞 氷室正義・長浜礼央（デザイン研究室）
---	----------------------------

㈱都市開発技術サービス（2001 年 11 月）／船橋日大前駅周辺坪井地区 夏休み・学生まちづくりアイデア募集	優秀賞 川島裕志（デザイン研究室） 小池大輔他 2 名（交通システム研究室）
---	--

㈱都市開発技術サービス（2001 年 11 月）／船橋日大前駅周辺坪井地区 夏休み・学生まちづくりアイデア募集	佳作 森田佳宏（デザイン研究室） 羽根田 健（デザイン研究室）
---	---------------------------------------

千葉県建築設計監理協会他（2002 年 3 月）／第 13 回千葉県建築四会学生賞 奨励賞	田島敬悟（デザイン研究室） 大沼郁俊（デザイン研究室）
---	--------------------------------

日本大学（2002 年 3 月）／平成 13 年度日本大学工科校友会賞	榎本尚之（地盤工学研究室） 大脇 理（道路交通研究室） 赤松秀彦（交通計画第二研究室） 福留直樹（交通システム研究室）
-------------------------------------	--

日本大学（2002 年 3 月）／平成 13 年度日本大学理工学部優等賞	水岩田 敦（道路交通研究室） 石坂哲宏（交通システム研究室） 村崎のりこ（道路交通研究室） 飛田悟郎（交通計画第一研究室）
--------------------------------------	--

平成13年度

就職状況

平成13年度 4 年生担任

宮森建樹・福田 敦

平成 13 年度の理工学部交通土木工学科ならびに大学院理工学研究科交通土木工学専攻の就職状況は、総括表にまとめました通り、学部 of 卒業者 177 名の内、大学院への進学・研究生などを除く 146 名に対して就職した卒業生は 118 名で、就職率 80.8％という結果でした。同様に、大学院の場合も、17 名の修了者に対して就職した修了者は 13 名で、就職率は 76.5％でした。就職しなかった卒業生を見ますと、大半が公務員あるいは公社公団への就職を志望していた者で、昨今の経済危機による公務員採用数の減少と受験者数の増大で公務員試験の競争率が増加している傾向

を、反映した結果となったようです。

就職者の内訳を多い順に見ますと、建設業 19 名、ソフト系 19 名、物流 15 名、不動産 15 名、コンサルタント 13 名で、建設業就職者が減少する一方で、ソフト系企業や物流企業への就職は好調で、この辺りは社会の状況もありますが、交通の強みが発揮されたところでもあります。その他、分類上は製造業やその他に入っていますが交通関連企業へ就職しているものが多く、就職冬の時代といわれますが、交通土木工学科卒業生は健闘したと言えます。

業種	就職先	学部	大学院
進学	東京大学大学院工学系研究科	1	0
	東京都立大学大学院都市科学研究科	1	0
	日本大学大学院理工学研究科	23	0
進学 計		25	0
公務員	警視庁	2	0
	国土交通省関東地方整備局	1	0
	小田原市役所	1	0
	新潟県庁	1	0
	千葉県警察	1	0
	八戸市役所	1	0
	八千代市役所	1	0
	流山市役所	1	0
公務員 計		9	0
公社・公団	勸東京都新都市建設公社	0	1
	都市基盤整備公団	0	1
公社・公団 計		0	2
建設業	㈱穴吹工務店	0	1
	㈱グラフィック	1	0
	㈱レックス	1	0
	㈱土木管理総合試験所	1	0
	㈱元木組	0	1
	㈱東関東	0	1
	㈱東部建設	1	0
	セイトー㈱	1	0
	ダイケンエンジニアリング㈱	1	0
	旭化成ジオテック㈱	0	1
	京急建設㈱	1	0
	坂田建設㈱	1	0
	常盤工業㈱	1	0
	世紀東急㈱	1	0
	第一建設工業㈱	1	0
	東亜道路工業㈱	1	0
	東洋エクステリア㈱	1	0
	藤森土木建設㈱	1	0
	日特建設	1	0
	日本道路㈱	1	0
	日本鋪道㈱	1	1
	八洲建設㈱	1	0
	名工建設	1	0
建設業 計		19	5
コンサルタント	㈱アド	1	0
	㈱アルメック	0	1
	㈱キャッツ	2	0
	㈱フジヤマ	1	0
	㈱ライテック	1	1
	㈱計画工房	1	0
	㈱国際開発コンサルタント	1	0
	㈱日本水道設計社	1	0
	ケイエムエンジニアリング	1	0
	ミウラ設計㈱	1	0
	横浜技術コンサルタント	1	0
	九栄調査設計㈱	1	0
	不二総合コンサルタント㈱	1	0
コンサルタント 計		13	2
物流	㈱日立物流	2	0
	NEC ロジスティック	1	0
	センコー㈱	2	0
	ソニーロジスティックス㈱	1	0
	三菱電機ロジスティックス	1	0
	川崎隆送㈱	1	0
	相鉄運輸	1	0
	東芝物流㈱	2	0
	日本ライナー㈱	1	0
	日本通運㈱	1	0
	富士物流㈱	1	0
	福山通運㈱	1	0
物流 計		15	0
情報・ソフト	㈱ ANA コミュニケーションズ	1	0
	㈱アイ・エイチ・アイ・システムズ	1	0
	㈱エヌジェーケー	1	0
	㈱ゼネテック	1	0
	㈱ソフテック	1	0

	㈱トータルインフォメーションサービス	1	0
	㈱ハイマックス	1	0
	㈱パスコ	0	1
	㈱電算システム	1	0
	㈱日本テクシード	1	0
	ドコモ・システムズ㈱	1	0
	トリオシステムプラザ㈱	1	0
	パナソニックエンジニアリング㈱	2	0
	フジオネ・テクノ・ソリューションズ㈱	1	0
	松下システムエンジニアリング	1	0
	松下通信アイティエスエンジニアリング㈱	0	1
	三井情報開発㈱	0	1
	全日空システム企画㈱	1	0
	日信ソフトエンジニアリング㈱	1	0
	日本アドバンス・テクノロジー㈱	1	0
	日立ビジネスソリューション㈱	1	0
情報・ソフト 計		19	3
不動産	㈱エイブル	1	0
	㈱ジョイントランド	1	0
	㈱千葉ミサワホーム	1	0
	アパ㈱	2	0
	スカイコート㈱	1	0
	セキスイハイム信州㈱	2	0
	セキスイハイム東海㈱	1	0
	信州ミサワホーム㈱	1	0
	千葉セキスイハイム㈱	1	0
	東京ミサワホーム㈱	1	0
	扶桑レクセル㈱	1	0
不動産 計		13	0
製造・交通	㈱三上自動車工業	1	0
	岩崎情報機器㈱	1	0
	松下通信アイティエスエンジニアリング㈱	1	0
	日産自動車㈱	1	0
	日信電子サービス㈱	1	0
製造・交通 計		5	0
製造・その他	千葉窯業㈱	1	0
	中川ヒューム管工業㈱	1	0
	伊藤忠非鉄マテリアル（内定）	1	0
	石井鐵工所	1	0
製造その他 計		4	0
学校	東京デジタルテクニカル専門学校	1	0
	日本大学助手	0	1
	日本大学副手	1	0
	日本大学研究生	6	0
学校 計		8	1
その他	㈱ olympic（2002 年 8 月 1 日予定）	1	0
	㈱エイチ・アイ・エス	1	0
	㈱ジョイフル本田	1	0
	㈱すかいらく夢庵カンパニー	1	0
	㈱パッセンジャー・サービス	1	0
	㈱ラムラ	2	0
	㈱杉孝	1	0
	㈱東京ブラザ	1	0
	アイ・エス・ガステム㈱	1	0
	静岡ガス㈱	1	0
	日本ハイウェイ・サービス㈱	1	0
	東洋証券㈱	1	0
その他 計		13	0
未定・不明 計		28	4
総 計		171	17

7214 号室

教室事務室

越川 静子

〒 274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1
<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp>

